夕刊 一月十九日
一部五錢 一ケ月壹圓 郵税一ケ月拾五錢
廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話〔編輯局專用(3)三二一五 營業局專用(3)三三〇〇〕
發行人 河 榮忠 編輯人 本 男 印刷人 水 趙內之介

怪飛行機飛來して 佛艦目懸け爆彈投下
地中海上の物情愈よ騷然
フランス全土に衝擊

【パリ十八日發國通】フランス地中海艦隊はモロッコ植民地の情勢不安に鑑み大西洋艦隊と相呼應し地中海上に一大演習を行はんとしてゐるが、大演習を前に十八日午後怪飛行機一臺がフランス驅逐艦上空に飛來、爆彈數個を投下したと確聞する、地中海の情勢一觸即發の際、右報道はフランス全國に異狀な衝擊を與へてゐる

物價高は遂に
大衆生活必需品に
政府の對策注目さる

【東京國通】大豫算による財政インフレ、爲替管理強化、さらに國際的商品昂騰の波に乘じ物價は暴騰し十八日發表の日銀小賣物價指數は(一月十五日現在)實に一六九・八と前月の一六二・五に比し近々一ケ月の間に四分五厘を急騰し、前年同月の一五六・八に比して三分三厘の昂騰である、「物價の急騰は思惑によるもので小賣物價はそれほど騰貴しまい」といふ樂觀論を裏切つていよ〳〵小賣物價も急騰をはじめた點は看過し難い、しかも百品目中値下りは鹽鮭、鷄卵の二品に過ぎず衣食、住に必要なる米、麥、綿布、木材等は全面的に急騰したことはいよ〳〵物價高の影響が大衆生活におよんで來たことを證するものである、しかし卸賣物價が小賣物價に比しはるかに先走つてゐる點よりみても小賣物價は先高を見込まれるわけでいよ〳〵政府のこれに對する對策は注目さるゝに至つた

鋼材先物 賣出し値段

【東京國通】日鐵では十八日同社獨占分野に屬する各社鋼材先物(三、四月渡し)賣出し協議會を開き、左の如く前回に比し何れも四十圓乃至六十圓程度の引上げを行つたが今回の建値は何れも原價主義に基くものであり、從つて市中相場に比較すれば噸當り五十圓程度乃至百廿圓見當の下値である

噸當り(單位圓)

	(新價格)	(値上額)
	(一五〇)	(四一)
大型山型鋼	一五五	四〇
大型レール型	一六〇	五三
大型溝型	一六〇	四八
中型丸鋼	一六〇	五五
角鋼及び平鋼	一六〇	六〇
小型山型鋼 A級	一七〇	五五
B級	一八〇	五八
C級	一七〇	五三

貴院各派の登壇順位決定

【東京國通】貴族院各派は廣田內閣に活を入れるため前例を破つて再開劈頭國務大臣の施政方針に對する質疑に當つてはまづ各派代表を順次登壇させ、政府をして議會を通じて現下內外非常時局に對する認識と信念を一層明確詳細に國民に諒承せしめる機會を與へるとゝもに、各派の意の存するところを披瀝して政府を鞭撻激勵することゝなつてゐるので、各派代表は十八日午後から貴族院書記官長の斡旋によつて登壇の順位を協議の上決定した

第一陣渡邊千冬子(研究會)外交、憲法政治擁護および教育に關する根本的概論質疑
第二陣坂谷芳郎男(公正會)外交および財政々策の全般にわたる質疑
第三陣小久保喜七氏(交友俱樂部)外交議會の權限抑壓、憲法政治の擁護、人權蹂躪問題に關する質疑
第四陣菅原通敬氏(同成會)財政々策中に包含される諸問題に關する全面的質疑

首相の兩黨總裁訪問
遂に取り止め
書記官長が代行せん

【東京國通】休會明け議會を控へ廣田首相は政、民兩黨總裁を訪問して諒解を求める筈であつたが、最近政黨方面の情勢其他の事情を考慮した結果大體恒例の兩黨總裁訪問をとりやめることになる模樣で十九日閣議においてこの問題に關する政黨出身閣僚の意向を聽取した上、最後的態度を決定することになつたが、大體書記官長を代理として訪問せしめることになるものとみられる

陸軍當局飽く迄
軍需豫算の貫徹期す

【東京國通】昭和十年度陸海軍豫算の十一年度繰越金は二千萬圓に達したので政黨方面では軍需工業の消化不足を**楯に**惡性インフレの防止と國民生活安定を圖るため軍需費の上にも徹底的檢討を加へ國內消化力との均衡を保ち得る程度まで削減すべきであるとの意見が擡頭しつゝあるが、これに對し陸軍方面では軍需工業はその本質上常に同じ幅を以て絕間なく運轉されなければならぬが作業の豫想以上の進捗のため又は年度代りの交替往々閑散期を生ずることあるためこれを補塡するため若干の繰越しを見込まねばならぬ等によるものであつて消費能力不足による繰越しは極く小部分に過ぎない、しかして十二年度においては航空關係で四五%の工場擴張を要するが、その他も一般資材方面では休止工場が相當ある結果、これを運轉せねば足らず、しかもこれを運轉して所要の軍需資材整備を豫定通り敢行しても現在有する軍需工業能力の八十%乃至九十%に止まり、なほ相當の餘裕を有するとて軍需費の繰越しは決して消化能力の**不足**によるものにあらざることを明かにしつゝあり、從つて休會明けの議會においてもこの建前のもとにあくまでも軍需豫算の原案貫徹を期する決意である

電力案の閣議承認後 賴母木遞相談

【東京國通】臨時閣議で電力國營關係法律案が承認された後賴母木遞相は左の如く語つた

電氣事業の現狀は徹底的な水力資源の開發、全國的な設備の連絡統制、國民生活及び近代產業に適合する料金政策の實施、農山漁村中小工業に對する電氣利用の普及促進、國防の爲にする發電及び送電場の特殊の配慮等に適切を缺くものがあつてこのまゝでは到底これらの國家的要求を充し得ない、よつて電氣事業の特殊性と既存事業に及ぼす影響などに深甚の注意を拂ひよく其國家的、社會的使命と國民經濟上の重要なる職能を遺憾なく發揮せしむる趣旨の下に電力管理法および關係法案の成案を得たのである、いさゝかの保守退嬰を許さずあくまで進取積極益々躍進日本の實を發揚すべき今日の非常時局に際して國力培養の爲基本的要件をなすものと固く信ずる

日支經濟提携
効果期待さる
對支文化事業特會法の改正

【東京國通】十八日の臨時閣議で今議會に提出すべき外務省關係法案としては對支文化事業特別會計法中改正法律案の**提案**が確立したが、今回の改正は對支文化事業特別會計積立金の運用範圍を擴大し、北支の鐵道その他經濟建設方面にも投資せんとするものであつて、將來の日支經濟提携上に相當效果があるものと期待されてゐる、すなはち對支文化事業特別會計は團匪賠償金により現在約三千五百萬圓の積立金を有してゐるが、其運用は公債買入れ或は預金部への預金の何れかに限定され、最近の低金利時代に處して不便が少くないのでこの制限を撤去し有利確實なる事業、債券にはその種を問はず投資し得ることゝし、その運用方法の擴大を圖らんとするものである、しかして右積立金の運用方法等は對支文化事業委員會で正式決定をみる豫定であるが、外務省としては先づ第一の投資として二千五百萬圓をもつて現在大藏省の保管する山東鐵道還附支那國庫債券(年六分)の買入れを行ひ將來同鐵道を中心とする北支の經濟提携の發展に資する方針であるが、なほ積立金の殘額一千百萬圓も必要によつては鐵道建設、鑛山開發等にも投資し得ることとなつてゐるが、これが**實現**すれば現在資金難のため着手出來ぬ津石鐵道の建設、龍煙鐵鑛の開發等も具體化し得るわけであるから北支の經濟開發上から今回の改正は注目されてゐる

外務辭令

【東京國通】外務省辭令
公使館二等書記官 大谷彌七
ホンジュラス國兼任を命ず

萬國博事務總長 赤木元內務次官就任か

【東京國通】小川商相は十八日午後官邸において横山東京府知事、牛塚東京市長と會見紀元二千六百年日本萬國博覽會事務總長の人選につき小川商相としては元內務次官赤木朝治氏を推したき旨を述べ、横山、牛塚兩氏は關係團體とも協議の上返事する旨を答へて會見を終つたが、事務總長には結局赤木氏が就任することゝなるだらうとの觀測が最も有力である

相川總督府外事課長 二十日來京

朝鮮總督府外事課長相川勝六氏は總務廳長會議ならびに省

陸大專科學生採用手續 臨時特例公布

【東京國通】陸軍では近代戰爭の複雜化につれ多數優秀な幕僚の必要が痛感され、また陸軍達成のため洩れなく人材の登用の必要が叫ばれてゐる折から、十八日の官報で陸大專科學生採用手續きの臨時特例を公布した、陸大專科學生(陸大專科の學生として未終業の大尉、少佐級より選拔するもの)は今まで師團より初審口頭試驗等を經て採用されてゐたが、これを今後は志願によらず平素の軍務に關する識見および活用能力等を斟酌して陸軍大臣から專科學生候補者として指定しこれを本年七月または八月頃陸大で口頭試驗、身體檢査を行つて採用することに改めたものであるこれで中少尉時代不幸にして陸大に入學出來ず、その後軍務多忙のため專科學生受驗も出來なかつた人も日頃眞面目に勤務し成績さへよければ陸軍將校としての登龍門に堂々入學出來る道がひらけたわけで同時に各部隊長の部下將校に對する人事統帥權も一段と強化される事になる、なほこの方法は明年以後も續けられる方針で專科學生採用者數もいまゝで十數名であつたのをグッと增加して卒業後の待遇も一般陸大出身者と同じレベルに引上げ眞に陸軍部內の優秀將校を網羅して將來皇軍の中堅たらしめようといふのである

人事往來

着京

▲下田勝久氏(高等法院檢察官)六日來京ヤマトホテル ▲江崎重吉氏(滿鐵貨物課長)同 ▲門間堅一氏(同商工課長)同 ▲押川一郎氏(滿鐵社員)同 ▲仙波久良氏(會社員)同 ▲松本京作氏(三井物產)同 ▲川內貫一氏(同)同 ▲知濱伊太郎氏(同)同 ▲本多兵輔氏(大倉火災)同 ▲細井研智氏(火災保險)同

向陽ホテル ▲北原唯二氏(會社員)同 ▲石光憲弌氏(汽車公司)同 ▲窪田圓平氏(木材商)同 ▲鐘ヶ江知祐氏(鑛山業)同 ▲三中保信氏(會社員)同 ▲川端文雄氏(會社員)同新京ホテル ▲味喜眞一氏(滿鐵)同 ▲柿沼平一氏(同)同 ▲吉田泰久氏(鐵道總局)同 ▲貞盛三男氏(滿鐵)同 ▲小池文雄氏(鐵道總局)同 ▲島田積氏(大林組)同大和新館 ▲辻守道氏(官吏)同 ▲鶴見次郎氏(石炭商)同 ▲野上一郎氏(會社員)同都ホテル ▲佐久間善作氏(實業)同吉田屋 ▲金澤吉造氏(建築業)同 ▲石田篁夫氏(官吏)同 ▲山本泰氏(土木業)同旭ホテル ▲山下卓男氏(第一徵兵)同愛國ホテル ▲津田藤藏氏(國際運輸)同 ▲森莊輔氏(食料品)同 ▲山下永幸氏(キリスト教會)同

▲赤鹽正治氏(第二軍管區)同 ▲松本芳太郎氏(松重電機)同富士屋 ▲川口榮吉氏(土木業)同 ▲瀧本德一郎氏(商人)同 ▲青柳總太郎氏(會社員)同滿蒙旅館 ▲鍋田覺次氏(同)同 ▲小林恒三氏(同)同 ▲谷田嘉作氏(大興公司)同 ▲福島清五郎氏(同)同 ▲石河浩氏(商人)同 ▲山口民治氏(ハルビン高等法院)同國都ホテル

▲佐々木大己夫氏(織物商)同 ▲隈元昂氏(電業)同 ▲岡本健一氏(綿布商)同 ▲難波磯二氏(東洋纖維)同 ▲志村悅郎氏(滿鐵)同 ▲田北文雄氏(日本海上)同 ▲甲斐喜八郎氏(日本鹽業)同 ▲田中秀一氏(會社員)同 ▲磯部[illegible]三氏(醫師)同 ▲三宅[illegible]氏(滿南合同電氣)同 ▲友國[illegible]氏(運輸業)同 ▲高須[illegible]氏(電業)同 ▲渡邊[illegible]之助氏(滿鐵)同 ▲山本重吉氏(火災保險)同 ▲川畑盛治氏(官吏)同北滿ホテル ▲荒川梅太郎氏(同)同 ▲內海勝之氏(貿易商)同 ▲高久正種氏(藤倉電線)同

出發

▲河村二四郎氏 十八日發ハルビンへ ▲木多玄靜氏 同 ▲細野重雄氏 同 ▲市川彩氏 同奉天へ ▲阿部正孝氏 同 ▲宮本重房氏 同圖們へ ▲可能顯良氏 同大連へ ▲右泉丈夫氏 同ハルビンへ ▲村山武雄氏 同 ▲吉川善生氏 同內地へ ▲常田勇吉氏 同吉林へ ▲日暮七郎氏 同依蘭へ ▲能瀨兵三郎氏 同 ▲竹川清信氏 同 ▲坂田誠氏 同王爺廟へ ▲大藤義夫氏 同大連へ ▲田邊義明氏 同 ▲兒島時治氏 同ハルビンへ ▲田中一江氏 同 ▲瀨戶口龍四郎氏 同 ▲門野良造氏 同奉天へ ▲長久美氏 同北票へ ▲寺井繁氏 同扶餘へ ▲山根靜雄氏 同京城へ ▲澤田佐市氏 同ハルビンへ ▲堀井隆吾氏 同 ▲平山榮次郎氏 同農安へ ▲南澤勝氏 同黑河へ ▲田中侃氏 同ハルビンへ ▲酒井良雄氏 同奉天へ ▲丁士源氏 同大連へ

その日〳〵

□ 地中海の風雲愈よ急！、いよ〳〵といふ處へ來て起つ元氣、何處の國にかある

□ 國同、社大、東方會等外交糺彈の國民大會を企圖、どこまで突き進み得るや……

□ 北海道から大量の農産物種子を購入、今少し早く考慮さるべきもの

□ ところがこの寒さを同じうする北海道で毛皮類は贅澤品として課税されてゐる

□ あす大寒、平均氣溫が零下二十度を割つては[illegible]らしくない

歌はぬ樂譜 (三十九)

山中峯太郎 作　水門讓二 畫

午後二時(三)

――それこそ、石田さんにちがひない！

俊子は、さう思はずにゐられなかつた。

醫師の人が、『お知り合ひの人だとばかり思つてゐた』さ、それならば、石田さんがこの病院へ、私を運んで來たのに違ひない。

『その方、また入らつしやるやうなお話してして？』

たづねる俊子の聲が、思はず高くなつた。

『さあ、どうですか。診察を見てゐられたのですが、大丈夫ですと申しあげると、そのまゝ出て行かれましたから』

――どこへ行つて？

と、俊子は、自分の一心で引き戻したいやうに思つた。

『今も申し上げましたやうに……』

と、看護婦の林さんが『』俊

子の昂奮してゐる顔を見守りながら、

『ほかに約束があるツて、さう仰有つてましたから、またお見えになると思ひますわ。何か大變、急いでらした御容子でしたし、……』

と言ふと、後を振り向いた。林さんが、白いドアをあけに行つた。

あわたゞしく入つて來た、それは、叔母さんと宏だつた

『まあ、俊子！』

叔母は、先生へ會釋することも忘れて、俊子の枕元へ、いきなり歩み寄つて來た。

『どうしたといふの、怪我したと言つて……』

見つめる叔母の目に、俊子は親身の情を見た。

『いや、トラックと衝突なすつたのでして……』

靜かに言ひだした先生の方へ、叔母は振り向くと、初めて頭をさげた。

『ハイ、まあ、とんだお世話になりまして、どんな容子でございませうか』

『右足の打撲傷と、裂傷がありますが、まづ骨をはづれてゐますから』

『それア、どこのトラックです』

と、宏が憤つて聞きだした

『どこのですか、まだ分つてゐませんが』

『俊子さん、どうしてまた、トラックなんかに衝突したんだ？』

『あの跛になどは？』

と叔母は、急にオロ〳〵して、

『そんなことは、ないのでございませうね、先生！』

『それは、實のところ、レントゲンで見ませんと』

先生は、口ごもつた。

――レントゲンなんか、無い病院だナ。

と、宏はさう思ひながら、

『しかし、骨をはづれてゐれば、大丈夫なんぢやないのですか』

『えゝ實は、それが、多分と申し上げ得るだけでして』

『いけないナ。どうでせう？寢臺自動車で、家へ歸ることは出來ないですか』

『……………』

若い先生は、眉をひそめた宏は、詰寄せるやうに聞いた。

『徐行してやれば、いゝのぢやないですか？』

――レントゲンもない小さな病院へ、このまゝ俊子を入れておけない！

『ねエ、叔母さん、さう思ひませんか』

『さあ……』

叔母は、宏のたづねる意味が分らずに

『俊子、お前自分ではどう思ふの？すぐに家へ歸つても、途中がねエ、どう思つて？』

だまつて聞いてゐた俊子は顔を振つて言つた。

『わたし、こゝの病院で、お世話になりたいと思ひますの……』

『さう……』

『そんなことを言つて、俊子さんこの病院は、先生の前だが、外科の專門ぢやないぜ』

『でもわたし、いゝのですから』

――石田さんに會ひたい！今こそ、これのみを、ひそかに願つてる俊子だつた。

東京オリムピック夢物語（一）

代々木の赤土何處いつだ？

「プロローグ」

代々木の森の練兵場から程近いサラリーマンの家庭での話。

「オイ！代々木がオリンピックの競技場になつたんだぜ」

朝食後新聞に目をやつてゐた彼氏が大きな聲で臺所へ呼びかけたものである。

濡れた手をふきふき出て來た妻君も慌てた樣に新聞をさしのぞく……。

「アラ…それじやあもういくら風が吹いたつて埃なんかたゝないわけネエ……もう洗濯物や大掃除だけでも大助かりだわ…」

「オイ、それ所ぢやあないよ…兎に角世界中の人間がみんな彼處へ集るんだからね、喜ぶのは何といつても商人だヨ僕も一つ轉向して一儲けするかナ…」

こんな風景があつてから今年で最う四年經つ、思へば慌しい四年間だつた、あらゆる意味を含んで、日本中の人々が擧つて合言葉の樣に叫び乍ら働き續けた、この四年間は忽ちの中に日本文化の水準をグンと引上げて了つた、さてそうして待望のオリンピックイヤーを迎へたんだ。

大會の中心地である大競技場もすでに竣工して觀衆十五萬人を收容する圓形の大ビルディングは堂々代々木原頭を壓して聳え立つてゐるではないか、それにしても代々木練兵場の變り樣といふものはまた大したものである、ほこりが立つて、あゝそいつは四年も昔の物語りになつて了つた、見よ！大競技場を中心に描き出された綜合運動場の配置の妙、大スタディアム正面を飾るローンに覆はれた大廣場、こゝから導き出される道路の端々にはプール、蹴球場ラグビー球場、ホッケー競技場籠球コート、庭球コート、或ひは體操、演武の爲に設けられた野外劇場が、それぞれ緑の木立の中に小スタンドに圍まれてある、殊に素晴らしいのは整備した室內體育館の氣の利いた建物である、之等を青々と延びた芝生、新芽に飾られた木立、或ひはキラキラと陽光の下に躍る噴水の群が點綴してゐる、これが果して赤土と埃に塗れたみすぼらしい木立の點在した代々木練兵場の跡だとは一體どうして考へられるだらうか、それに競技場を中心に澁谷、青山、代々幡、新宿各方面に向つて放射狀に芝生と並木を縫つて設けられた六本の大道路、富ヶ谷側の低地には廣々としたパーキング・プレースも設けられ今は競技場見物の人等を乘せた市バス、青バスがわが物顏に明るい日光の下を動き廻つてゐる。

最初この競技場問題も市の提議した月島問題から始まつて、神宮外苑說、高井戸說等々と隨分紛糾し、代々木練兵場はまた軍部方面の謚りで一番難關に面したものである、これを巧く納得させたのは確かに組織委員會の大成功であつた。

櫻の都戸田市とヨット・ハウス

鋪裝された中仙道を北へ、快適なドライヴを試みる事約卅分、對岸に櫻の並木を前景に夢の樣に都市が浮び上つて來る、これが誕生早々の戸田市である、人口十萬の「市」これも今度のオリンピックの副産物である。

即ちこゝには世界にその例をみない漕艇池が出來たのである、荒川の水を引いた直線三千米、幅八十米のコースには今やさき誇る櫻の花の下に日本クルーの練習振りがみられる。

×　×　×

面目を一新した京濱國道を四十分、横濱市のはづれ、本牧にも林立した小艇のマストヨット・レースの中心地が出來たのである、完備したヨット港が設けられ、參加選手の宿舍、ヨット・ハウスの瀟洒な建物が明るい影を海面に投げてゐる。

完壁を期したオリンピック村

オリンピック選手の宿舍問題は一番うるさかつたものである、だが環境、交通、水、衛生、練習場の設備等と色々な條件がならべ立てられてみるとこれに適合した土地はなかなかみつからなかつた。

發生した近郊の候補地の中からどこのつまりが東伏見の早大運動場を中心に居心地のよいオリンピックの村が出現した。

交通も西武鐵道、大型バスの運轉で申し分無いし、練習場は早大の綜合運動場がそのまゝ提供された、丘もある森もある、これを縫ふ快適な小路、割然と開けたところには明るい空を寫して滿々たる水をたゝへた池も造られた、この土地は將來市民の住宅地に仕樣といふのが東京市の肚である。

選ばれた射擊馬術場

この他に射擊場が大久保の陸軍射擊場馬術は世田ケ谷、藝術は上野の杜とすべての準備はもう完了してゐる、大會よ！さあ何時でもやつて來い

無敵早大氷上軍今朝元氣で着京

"オーバーワーク氣味"と牧定夫監督語る

石原、李、南洞、中村等のオリンピック選手を多數擁し鮮滿遠征途上にある早大氷上軍牧定夫監督、安部忠文主將以下選手一行三十一名（ホッケーG・Kに中澤鑒選手は風邪にて奉天入院）は豫定通り十九日午前八時着列車にて來京直ちに驛前旭ホテルに投宿した、なほ驛頭には新京、滿洲國[illegible]、校友會關係者等多數の出迎へあつた、監督牧定夫氏は語る

滿洲には度々來征して馴れてはゐますがやはり此の寒氣には相當まゐります、どうでせう今日などはそんなに寒くはないでせうか？、奉天では御承知の樣な成績でしたがG・K中澤が風邪さへひかなかつたら勿論輔仁大學にも敗けなかつたと思ひます、何しろ三十九度の高熱を出してゐながら出場して球もよく見えないのに頑張つたものですから遂にこちらに來られなくなりました、選手一同のコンディションは少しオーバーワーク氣味です（寫眞は新京驛着の一行）

午後三時試合

十九日午前八時着列車で來京した早大氷上軍は午前中代表牧監督、安部主將は齋事務局社會係の案內にて各關係機關に挨拶廻りをし、正午は校友會主催の午餐會に臨み午後一時半一同忠靈塔に參拜、午後三時から西公園における全新京軍との第一回戰に出場した

廿日午後北上

早大氷上軍は新京におけるスケヂュール終了後直ちに二十日午後十二時發列車でハルビンに向ふと

初等教育會四區氷上豫選

滿鐵初等教育會第四區では來る三十一日奉天で開催される氷上大會の豫選を十七日午後二時から西公園リンクで開催吉林、四平街、公主嶺、ハルビン各校から多數參加者あり盛大であつた、豫選入選者は左の通である

一、五百メートル

▲二十歳台 坂本（公主嶺）中村（西廣場）佐藤（ハルビン）

▲三十歳台 四方（八島）古川（室町）村田（西廣場）

▲四十歳台 大林（ハルビン）

二、千五百メートル

岡本（ハルビン）佐藤（ハルビン）

三、二十歳台リレー 坂本、中村、佐藤、岡本、松本（西廣場）渡邊（八島）

四、三十歳台リレー 四方、古川、村田、大林

新京商業あす寒稽古納

十四日から引き續き開催中であつた新京商業學校の寒稽古は二十日で終了、同日は午前八時から九時まで全生徒揃つて納會が行はれる

初等教育會で學用品研究

新京初等教育會では現在兒童教職員が學校で使用してゐるノート、繪の具、定規、物さしその他學用品の研究改正のため來る二十一日午後二時から三笠小學校で學用品研究調査委員會を開催する

歳末警戒網に引掛つた大物

貴金屬强奪犯遂に捕はる

匪賊檢索のため出動中の首都警察廳特別工作班古賀巡官が十八日乾安縣方面に向ふ途中擧動不審の滿洲國人を發見取調べると意外にも右は住所伊通縣第四區樂山鎭屯王家成（三十二）で康德元年三月二十二日午後一時新京大馬路寶華興金店を襲ひ貴金屬約五千圓を强奪逃走した四人組拳銃强盜一味の首魁であること判明した、王は當時當局必死の搜索にも拘らず巧に姿を晦し其後も盜匪五名の首領格として乾安、伊通、懷德、長春に各縣を荒し廻つてゐたものである

あすは大寒

なれど氣溫は二月初め程度

この暖さは當分續く

あす二十日が暦の上の大寒だ、去る六日寒に入つて十五日、寒三十日といはれる、その峠に達する譯だ、あと十五日、來月の三日の節分で寒があける、暦と實際とは違ひがある、殊に今年のやうに寒くない寒は珍らしい、日蓮宗や大師講の人々の寒行も、いつもの年より樂のやうに見受けられる、いづれにせよあと十五日で寒あけとなると待遠しい、立春の聲を聞いただけで重荷を卸したやうな氣分になれる、新京觀測所では二十日の天氣について次の如く語つた

今の處氣壓の配置は高氣壓はその首部が滿洲里方面にあり漸次北滿東滿方面に延びており低氣壓は支那東海四國沖內地のはるか東方海上にあり滿洲とは餘程の距離があるので急速に變化なき限りあすの天候は北の風晴れ一時曇りで寒さも今日あたりと大差ないだらう、なほ今朝の氣溫は最低零下十五度九、最高十一度で前年二十日の氣溫最低零下廿三度五分、最高零下十二度平年氣溫最高十一度、最低二十三度に較べると非常に暖かいその原因は氣溫は主として氣壓の位置と發達の如何によるのであるが、本年は高氣壓が都合に發達しなかつたのと移動が甚しかつたためであらう昨今の暖かさは丁度平年の十一月下旬頃から十二月初二月下旬から三月初の氣溫と同じ暖かさで一寸珍らしい現象であるがしかし今までの記錄から見ればこういふ例はいくらもある

昨年十二月末の新京附屬地人口

內地人三萬三千二百八十一人

新京署調査による昭和十一年十二月末新京附屬地總人口は六萬四千二十五人でその內譯左の如し

△日本人 內地人	三三、二八一人
△半島人	三、一八六人
△滿洲國人	二七、二七二人
△外國人	二八六人
合計	六四、〇二五人

首都警察保安新撰組愈よあす誕生

直ちに全市に亘り遊擊指導

かねて計畫中の首都警察廳保安科の新撰組、保安遊動隊はいよいよ明廿日誕生すぐさま街頭に乘り出して大同大街を中心に特別全市に亘つて、從來多方面に亘り兎角不徹底沈滯勝ちの保安警察事項に對し同隊が中心となつて各警察署を督勵して遊擊的な活動をなし各種事故の絶滅を期することゝなつた、同遊擊隊は二班よりなり、ゆくゆくは更に第三班をも增設する筈であるが、兩班とも巡官を隊長に警長二名、警士三名を以て組織され、自動車のスピード違反、各種交通機關の駐車場の取締、營業取締、街上放置物件の取締等保安警察所管事項全般に亘つて晝夜の別なく積極的な活動をなし、從來不振氣味の各署保安科に刺戟を與へ、指導的立場よりこれを統率して行かうと言ふもので同廳最初の試みとして同隊今後の活躍が期待される

小盜兒舞ひ戻る

河北省生れ玉國華（二十三）は昨年秋康德天平に雇はれてゐる中店の金九十圓餘と同僚の時計、靴その他を竊取哈市方面に遁走したので領警署で手配中十八日新京に舞ひ戻り午前九時頃國務院前を徘徊してゐるところを坂本、城口兩刑事に發見逮捕された

友人を騙して歸滿する男

原籍長崎縣松浦郡松本勇一＝假名＝は昨年秋內地に歸り歸京の旅費も使ひ果し思案の末同郡川田梅男君＝假名＝に滿洲良いとこと濡れ手で粟の話を聞かせ自分の妹が新京で活動館をやつてゐるから行けば就職は心配ないと同道をすゝめた、聞いた川田君すつかり魅せられ松本に衣類、防寒具、下駄と御禮をし旅費まで出してやつて新京へつれて來てもらつた、來てみれば何の第三某ビルに同居させ何の彼のと云つて就職どころではないので川田君初めて眉唾ものと後悔したがあとの祭り旅費のあるうちにと口惜し涙をのんで昨暮れ長崎へ歸つた、その時マント、衣類七十餘圓を正月早々送り返す約束で松本の處へ置いて行つたのを何度催促しても返さんのであまりひどいと新京署に願ひ出た

家內中持て餘す道樂息子

茨城縣猿島郡名越忠一（二十七）＝假名＝は手のつけられぬ道樂者で家內中もてあましてゐたが昨年暮老いた父と幼い弟が汗と脊で長い間かゝつて溜めた三百余圓の金を持つて家を飛びだしてしまつた、最近になつて新京の知人の所に居る事を知つた父は苦しい一家の窮狀をつぶさに訴へこの手紙で忠一が改心して歸らぬなら不良收容所へ入れてくれと新京署に賴んで來た

一千圓當籤は川畠清親氏

輸入組合賣出し抽籤

さる十日嚴正抽籤された輸入組合主催の一千圓景品附歳末國都發展祝賀大賣出しは十六日正式發表以來幸運の當籤者は誰かと期待されてゐたところ十八日午後二時左記當籤者が表はれ組合內にはドッと歡聲が擧つた

一等　一千圓商品券、入船町二丁目川畠清親氏

二等　五百圓商品券、錦町錦ビル渡邊軍次氏（但し五分の一）

三等　二百圓商品券、日本軍需品商會內石川平五郎氏（五分の一）

松藤氏お目出度

專賣總署事業第二科勤務の松藤武一郎氏（廿九）はアパート羽衣莊經營貸家業武居重雄氏息女靜枝孃（廿三）と十八日午後二時新京神社に於て專賣總署副署長難波經一氏媒妁により華燭の典を擧げた、新郎は京都帝大法科出身、學生時代はラグビーの選手、未來を囑望されてゐる青年官吏、新婦は新京高女卒業の才媛生粹の新京子で學生時代は陸上競技の選手、明朗なる近代的女性である、披露は十八日午後六時から賓宴樓で開かれ百餘氏の來賓出席、媒妁に當つた難波經一氏より新郎新婦を紹介、知友各氏の祝辭相ついで行はれ午後九時過ぎ散會した

市場會社三十日總會

新京市場株式會社は來る卅日第四十回株主總會を開催する事になつたが、同總會を機に社長の更迭あり現社長學務課長武田胤雄氏辭任、後任として事務局業務課長高田精作氏の就任を見ることに內定してゐる

寺島興銀支配人

滿洲興業銀行本店支配人寺島德實氏は十九日挨拶のため本社へ來訪した

齋藤中佐夫人

新京憲兵隊司令部齋藤中佐夫人滿枝さんは宿痾療養中の處藥力效なく十八日午後八時永眠、二十日午後一時自宅出棺祝町高野山金剛寺で告別式が執り行はれる

あす（二十日）

▲大寒 ▲戶外週間最終日 ▲戰跡訪問耐寒武裝競走、午後一時、新京神社出發 ▲對早大氷上軍競技、午後四時、西公園リンク ▲市公署納稅標語締切、同署稅務科宛 ▲聯合防護團最高幹部會、午後四時、滿鐵事務局地方課長應接室 ▲步四會新年宴會、午後六時軍人會館 ▲滿洲火災保險協會設立披露宴、午後六時半、ヤマトホテル ▲吉本選拔漫歳一行公演、公會堂

今晩の主なる演藝

▲六・五五カレントトピックス（東京）▲八・〇〇映畫物語「神變麝香猫」（東京）▲八・三五小唄「高砂」（東京）小良久外▲八・五〇クラリネットと純正調オルガン（東京）井富造外▲一〇・〇〇ピアノ三重奏（大連）

除權判決

大連市山縣通二百二十一番地

申立人　國際運輸株式會社

右申立人ノ申立ニ依リ左記目錄記載ノ證書ニ付公示催告ヲ爲シタル處昭和十二年一月十二日午前九時ノ公示催告期日迄ニ權利ヲ屆出テ且其證書ヲ提出スルモノナカリシヲ以テ當館ハ申立人ノ申立ニ依リ該證書ノ無效ヲ宣言ス

昭和十二年一月十二日

在新京日本帝國總領事館

領事　中嶋忠三郎

目錄

	其ノ一	其ノ二
證券ノ種類	貨物引換證	同上
證券番號	一七六四號	一七六五號
品名	高粱	蕎麥
個數	三三三袋	三一九袋
價格	千五百圓	千五百圓
荷送人	半島商會	同上
荷受人	四平街半島商會	同上
發送地	前郭旗	同上
到着地	四平街	同上
證書發行月日	昭和十一年一月九日	同上
證券作成地	新京	同上
證書發行者	宮原芳茂	同上

映畫と演藝

哈市交響樂團の渡日に一抹の暗影

【哈爾濱國通】哈爾濱交響樂團の訪日演奏旅行は既報の如く櫻咲く陽春五月頃渡日の豫定で、目下具體的交渉が進められてゐるが、この一行の渡日をめぐつて意外な紛爭が持上つてゐる、即ち管絃樂協會では昨年九月極東興業株式會社に對し渡日演奏旅行の話を持ちかけ會社側では管絃樂團のほかに明星ダンスホール、フイリッピンジャズバンドや少女バンドを打つて一丸として該ジャズバンドを組織し、これに金髪ダンサー卅名を加へ總勢百餘の一團を渡日せしめようと計畫を進めたが、内地側興行家との間に交渉纏らずお流れの形となつてしまつた、協會側ではその後單獨に内地興行家と交渉を開始したのであつたが、これに對し極東興行では從來の行がかり上默視出來ずと横槍を入れたので訪日演奏の朗かなニュースに一抹の暗影を投げかけ各方面に成行注目されてゐる

オペラ映畫　ソ聯の新試み

新しく組織されたソヴエート人民委員會議藝術委員長Ｐケルゼントゼフは、ソヴエートの藝術に新生命を吹き込む約を守つて、オペラ映畫の製作を要請してゐる、彼はソヴエート聯邦には約二萬五千人を收容する二十一のオペラハウスがあるに過ぎない、それに反し映畫は毎夜百倍もの觀客があり從て映畫はオペラにとつて最も適當な媒介物であることを指摘してゐる　藝術委員會が映畫化するやうに提案した最初のオペラは「カルメン」と「ボリスゴドウノフ」である、オペラ映畫の最初の實驗は舊臘中ウクラインフイルムによつてなされ、これには國民的なウクライナのオペラである「ナタルカ・ポルタヴカ」を映寫した、藝術委員會は今後二年間に、映畫化された新しいソヴエートのオペラを十二製作しようとしてゐる

邦畫界は今年も競映ばやり

淨瑠璃、歌舞伎で古くより人口に膾炙してゐる悲劇「傾城阿波の鳴門」は新興京都が「伊達競艶錄」に次ぐ歌舞伎映畫シリーズとして「阿波の鳴門おつる巡禮歌」の題名の下に大谷日出夫、鈴木澄子主演で映畫化するが、これに對しマキノ・トーキーでも舊臘來密かに企畫を進め、女優總動員による「阿波の鳴門」の現代劇化をなす模様であり更に本年度よりいよいよ本格的にトーキーを年六本製作を行ふ大都映畫が第一回作「戰時報告書」に次いで「阿波の鳴門」のトーキー化を企畫してゐるので果然今春早々「阿波の鳴門」の三社競映戰が展開することになつた、なほ各社今年度のプランをみるに「白野辨十郎」がＪＯ（月形龍介主演）大都（杉山昌三九主演）の兩社によつてトーキー化され　また「忠臣藏」の製作が新興、日活、大都の三社で企畫されてゐるほか、進捗中のところでは新興京都の「佐賀怪猫傳」に對しマキノが「本朝怪猫傳」で猫競映をなしてゐるなど、今年も亦例によつて邦畫界は競映ばやりである

南洋を舞臺に劇映畫製作

舊臘新興キネマがカッ飛ばした「獨立プロ絶縁」の爆彈宣言の犠牲になり、去就を注目されてゐる阪妻、高田兩プロは阪妻が逸早くプロダクションを解散して身輕になつたに引かへて高田プロは飽くまで獨立プロで押通し、配給に關して東寶映畫と極秘裡に折衝をつゞけてゐるが、新春着手作品には　わが南方の生命線南洋を舞臺に劇映畫を作るプランが出來上つた、スタッフその他に就いてはまだ詳細決定してゐないが、同方面を中心に劇映畫製作を目論んでゐるものに日活多摩川が臺灣高砂族の風習、ヤップ、サイパン等の南洋諸島をバックにする「南國の唄」藝術映畫社の「スコール」等がある

◇◇丸髷混戰記◇◇

松竹大船、「人妻椿」に次いで野村浩將が監督するお正月もの、池田忠雄の原作に基き興齊興一が脚色に當つた、棒高跳の選手佐分利信が友人大山健二、小林十九二のとり持ちで相愛の高杉早苗と結婚をするが、二人の仲が餘りいゝのでとり持ち役をうけたまはつた二人が嫉けて登山好きのモダン藝者筋が縺れて來るといふ大船一流の明朗篇、他に坂本武、齋藤達雄、飯田蝶子、吉川滿子等此の種作品になくてはならない達者連が活躍する、キャメラは高橋通夫の擔任、長春座二十日封切、（寫眞はその一場面）

姫宮接子退社

新興大泉の姫宮接子は入社以來會社側に反した個人的行動に出で、撮影所の許可も得ぬ挨拶アトラクション等に無斷出演し、その都度注意等を受けて來たが、再三再四の勸告にかゝはらず、勝手な行爲を重ねて來た結果最近は五社協定問題を惹起する怖れが生じたので、遂に撮影所としては、所員統制上一月十日限りで退社を命じた

信子の下町娘「初島田」完成

「美人國のぞ記」で三七年の華々しいスタートを切つた新興大泉の伊奈精一監督が次回作品は世話物作家として有名な川村花菱氏の傑作を如月敏が脚色し、中井朝一がクランクを擔當せる「初島田」で、主演は久方振りの下町娘に扮する伏見信子と植村謙二郎の珍らしい顔合せを始め、伏見直江、小宮一晃、加藤精一、大友壯之介が堅實な演技を添えてゐる。相愛の若い二人が釀す下町情緒を中心に威勢の良い江戸ッ子が緣結びに奔走する胸のすく様な職人氣質を描く初春の御觀賞にふさわしい人情浮世噺の一節、愈よ之が完成を見て關西直營館に近くお目見得する事となつた。

サボテン

ダイヤ街の桃園にモモカヅと云ふ小柄な姐さんが居る、昨年は急性肋膜炎で死線を彷ふたが、一文足らずで賽の河原を渡り損ねたといふ▼この姐さんは叶姐さんとともに麻雀狂で、聾者が手を放すほどのときも「ポン！」と言つたら手を出すナ」なんて頼りにウワゴトを並べたそうだが、今では至極神妙に三味線持つて續いてゐる▼サテ何時まで續くかネ▼叶姐さんは先日の健康診斷で「營養、體格甲」と折紙を付けられたのも當然と云へば當然▼身長五尺四寸、體重十五貫といふ立派な體格の持主だが、この人と初めて麻雀をすると體力に押されてゐる様な氣がして相當強い心臟でなければ勝てぬと云ふ▼だが氣は優しくて桃太郎の如しだからこの點彼氏も安心してゐるわけです

雜音

長春座の今週の入りは初日以來順調な成績を見せる、今年は昨年以上に粒の揃つた寫眞が續いてゐるだけに仲々の强味である、正月以降の好調も松竹系マークによるところ大きい▼次週再映プロを挾んで引き續き「丸髷混戰記」「青春滿艦飾」等賑やかなところが並んでゐるからこゝの安定感は他にとつては羨しいものがあらう▼帝都も半額券がきいてか引き續いていゝ入りを見せてゐるが、互篇メトロの「ジグフリード」を控へて對策に餘念なしと言ふところ、何しろ廿五卷もあるレヴューものといふだけに消化するのに一苦勞だ

水曜　丁未　先勝　破　壁宿　舊十一月二十八日　一月二十日

●一白の人　全身の力を注ぐも手應へなく無駄に終る日　甲と丁と庚が吉
●二黑の人　衆目を牽く發達は望み難きも應分の利あり　乙と申と丑が吉
●三碧の人　爲す事意に叶はず捨鉢となりて益凶に傾く　丁と辛と壬が吉
●四緑の人　本業大切と固守して凶災を招かぬ注意肝要　辛と壬と癸が吉
●五黄の人　一致協力は能く非運をも免る病厄盜難警戒　乙と乾と亥が吉
●六白の人　開運發達の日柄屈する所なく進み求むべし　乙と申と辛が吉
●七赤の人　利潤多大なる日なれど妄りに人言に迷ふな　申と辛と丑が吉
●八白の人　德義を重んじ貞正に身を處すれば開發の兆　乙と戌と亥が吉
●九紫の人　名利共に揚りて一家光明に輝く日發奮に吉　丙と丁と申が吉

硫安輸出入許可制 二月上旬實施か

＝重要肥料業委員會て可決＝

【東京國通】重要肥料業委員會第一回總會は十八日首相官邸に開かれ廣田會長、島田、小川兩副會長以下各委員出席廣田首相の挨拶の後硫酸アンモニアの輸出入を許可制とする左の如き諸問案を附議、協議の結果これを承認した

一、硫酸アンモニアを輸出又は輸入せんとするものは政府の許可を受くるを要する事

二、本許可制は昭和十三年十二月末日までこれを實施すること

尚本許可制は内地及び外地にそれぞれ實施すること

右許可制の實施期は大體二月上旬となる見込である

需給檢討し 許可數量を規定

【東京國通】重要肥料業委員會にて決定した肥料輸出入許可制度の實施については政府は近く硫酸アンモニヤ生産數量と國内需給關係を檢討して輸出入の許可數量を省令により規定する筈である、又外地の實施に關しては目下朝鮮總督府、商工、農林當局間に打合せ中で、半島は肥料統制法と同樣の法令を近く公布し内外地がそれぞれ同時に實施する方針で大體許可制實施期日は一月末又は二月上旬になる模樣である

滿洲電業で 特別勸誘實施

滿洲電業會社では今回實施された電燈料金の値下げを記念し一月十五日から二月七日までの間、新京に於いて電燈の特別勸誘を行ふことを決定、すでにその仕事を開始してゐる、この特別勸誘の趣旨は料金値下げ及び標準時改正に伴ふ巨額の減收を幾分補塡することを主眼とし併せて電氣普及率と照度の向上を圖るといふのであり、城内營業所區域に主力を注ぎ併せて興安大路營業所に及び更に日本橋通營業所區域をも加へるものである、需用家に對しては特典として

一、增燈に對してはすべて電球を無料で交換する

二、配線會社持ちの工事手數料はこれを免除し、配線需用家持の場合は材料代實費を申受け工賃を免除する

の二項があり、增燈の場合地域によつて一燈一圓の保證金を申受けること、六ケ月繼續使用を約束することが條件となつてゐる

日東貿易 倍額增資決定

【東京國通】日東貿易會社では十八日重役會を開き新株未拂込み總額二百五十萬圓を三月一日徴收し全額拂込濟みとした上資本金を倍額の二千萬圓に增加することに決定した

最近の鐵材騰貴は 見越思惑に依る

但し更に暴騰せば適當の措置

【東京國通】最近における鐵の騰貴は主として明年度以降に於ける陸海軍々需要の激增に起因するが如く一般的に見られてゐるが十年度の軍部の鐵消費量ならびに十一年度豫想消費量は國内全消費量の一・四%に過ぎず、明年度から急激に軍事費が增大すると雖も鐵の消事費には殆ど大差がない見透である關係上軍部では現在の鐵の騰貴は無條約時代に入つての建艦競爭及び極東情勢の緊迫等を見越しての思惑に依るものとみてゐる、しかして右の如く軍部の消費量は國内消費量に比し極めて少量であるとはいへ鐵價の暴騰は國防充備計畫遂行の上に重大な影響を及ぼすのでこの情勢が更に濃化することならば主務當局と協議の上適當の處置をとらなければならぬとしてゐる

本年財界見透しに 一つの樂觀論

昨年以上の發展を豫測す

【東京國通】昭和十一年度我財界は二・二六事件以來全財界に漲る悲觀警戒氣分を尻目に進展の一途を辿りよく有終の美をなした、これに對して本年の財界は如何なる豫想を現すであらうか、これについては最近の物價騰貴、爲替管理等から惡性インフレ懸念の悲觀論も可成り行はれてゐるがこれに對しわが財閥の代表三井の意向を表現するものとみられる中外商業新報が左の如き樂觀論を發表してゐるのはすこぶる注目に値する

昭和十二年財界の見透しにつき先づ第一に注目すべきは政界の成行である今議會に提案さるべき增稅案はそれが增稅の程度においてもまた範圍においても劃期的のものであるだけにこの所謂增稅を繞る政府と議會との對立は可成り深刻なるものと覺悟せねばならぬ、しかしこれは終局において無事に落着くものとみられるが議會開會中は財界を刺戟する如き事件の突發は免れがたいであらう、增稅問題に次ぐ最大關心事は爲替管理の强化である、内地にあつては卅億圓の尨大豫算の編成をみ外においては世界的軍拡熱に煽られた物價高は大藏省の輸入爲替統制發表によつて更に拍車を加へ綿糸、人絹を始め原料を海外に仰ぐ諸商品の取引を著るしく不圓滑ならしめ、從つて市價を昻騰せしめた、しかしてこの爲替管理問題を支配するものはその貿易情勢如何である

昨年のわが貿易は四面楚歌の聲を聞きつゝも結果においては總額五十七億圓と前年に比し九分七厘增の好成績をあげ、入超額も僅かに一億三千萬圓に過ぎなかつた、貿易外收入一億二千萬圓を勘定に入れる時は近々一千萬圓の支拂超過に過ぎなかつた、本年は世界的物價高、貿易制限緩和等に惠まれて特別の支障なき限り輸出入共一割以上の增進を見、總額六十五圓前後に達すべきことと豫斷に難くないたゞ問題は入超額前年に比し稍々膨脹を豫想されることであるが、それの大部分は本年の貿易外收入をもつて賄ひ得る程度のものであるから結局政府としては豐富なる日銀保有正貨準備十六億圓中から二、三千萬圓の現送を行へば爲替も容易に持續することが出來やう果してしからば爲替問題も特に心配する程のものではなく目前議會を中心とする動搖は免れないとしても一年を通觀すれば本年は昨年以上財界の發展する年柄であるといふことが出來る

南滿農民群の 北滿移住激增

―牡丹江から林口方面へ―

南滿の滿人農民達が北滿へ物凄い勢ひで殺到しつゝある、濱綏線に入りむ滿人移民の群れは連日平均百五十人以上に達し驛員達は元旦匆々から文字通りの轉手古舞を演じてゐる、これ等移民團は十一日迄既に廿團體總數千二十三名の多きに達してゐて今後どの位增加するか見當がつかぬ、彼等は安奉線沿線の狹地で辛苦した者であるが北滿の肥沃廣大且つ最近鐵道開通、穀價騰貴加へて治安確立に依つてこの移住となつたもので當局の宣傳にも依るが南滿の野地と北滿の豐饒さが比較にならず南滿を見切つて北滿の新天地を求めるものでありこの大部分は牡丹江を越え佳圖線林口方面に向ふ由でこれが爲め鐵道局では三列車を增結した程で年頭から各驛はこれら移民團殺到の現象に驚いて居る

特産出廻り激增で 總局貨車增配

北鮮經由、昨年より激增

【奉天國通】北鮮三港經由特産輸出はドレフス、ワッサルドの歐洲大手筋ならびに三井三菱の買付輸出旺盛により昨年十月の特産出廻期以來本月十五日までに三十三萬キロトンにのぼり、更に出廻り激增の狀勢にあるので總局配車課では十八日より輸送能力を一日百車（五千七百噸）に增加してこれが消化に努めることゝなつたが、本年度北鮮三港經由特産輸出は七十萬噸をはるかに突破するものと豫想され、昨年度の廿九萬噸に比し約二倍半にあたる激增であるなほ一月中三港配船は次の如くである

三井 三隻（二萬七千噸）
三菱 三隻（二萬四千噸）
ドレフス 四隻（三萬噸）
ワッサルー 二隻（二萬四千噸）

地方的に相違する 支那農村狀態

變化に應ずる對策が必要

大陸政策革新の問題に關聯して、支那の農民が現に置かれてゐる狀態を明らかにすることは極めて肝要であると言へやう。

× ×

支那は大體に於いて地主の統治する社會である。今日、南京政府を代表とする資本家的勢力は地主を超えてゐるがそれは一部的に揚子江沿岸に實現されてゐるのであつて、地方では昔ながらの地主統治に停頓してゐる。地主統治は資本家の勢力の及ぶ範圍では著しく昔の封建的形態を失つてゐる。南京政府の勢力の及ばぬ北支等では軍閥政治である。

× ×

地主統治は官治と自治とに分たれる。この形態は一千年前に宋が天下を統一した時代から行はれたもので、官治は簡單に言へば財富を人民から汲み上げる組織である。この官治機構は縣から下には及ばない。それ以下は非常に金がかかるからであるとされてゐる。人民と官吏、治者と被治者の摩擦がひどく、又財富はそれほど取れない。それより小都市や農村の地主階級に信頼して、小作農、小農を壓迫して圓滑に搾取する。これが自治のカラクリであり、この自治は一面に官治の財富を收入する手先、請負機關である色々の税金を人民に請負させる包辦制度はこゝからはじまつた。かかる自治は人口が增加し、工業が全國に普及して來ると多くの方面に階級的摩擦が生じてゐる。

× ×

支那社會は均一でなく、變化がある。これを概分すると支那民族社會の最も發達してゐる南支那、次に北支那、それから北支の植民地たる地方である。この三地方を比較すると、社會を構成する諸條件に著しい相違のあることが知られる。一戸當りの生活に必要な耕地面積の差違、貧農の存在率、自作、自小作、小作農の比率等を見てそれが明白である。北支の農民が安定し富んでゐるといふのは間違ひである。土地飢饉のため生活は非常に動搖してゐる。南京政府の農業統計を見ても、ルンペンが增加し、中南部支那に追はれつゝある。

× ×

北支、南支、農民の狀態は大いに異つてゐる。この差異に應じた對策が必要なのである

土建ニュース

●奉天地方事務所
▲奉天地方事務所玄關前指示板取設工事 特命 三十七圓 鍋島工務所
▲虎石台社宅新築に伴ふ道路築造工事 特命 八十四圓 河野組

●大連工事業務所
▲本社第二分館用度部カウンター取設其他工事 落札 一千七百十五圓 草場組
一、七二〇、〇〇 柿崎組
一、七六〇、〇〇 吉川組
▲濱町緞庫屋根其他修繕工事 特命 四百二十八圓六十八錢 坂本與一

●興中公司
▲天津發電所新築工事 落札 五十萬圓 福昌公司

●大連保線區
決定工事
▲星ケ浦ヤマトホテル貸別莊第四七號外四棟煙突修繕其他工事 特命 三百十三圓七十七錢 柿崎組
▲大連ヤマトホテル洗濯所火熨斗竈修繕工事 特命 九十圓 瀧村鐵工所
▲大連ヤマトホテル洗濯場火熨斗竈蓋板及煙道增設工事 特命 三百十二圓 瀧村鐵工所

●工事事務所
▲濱町緞庫屋根其他修繕工事 豫特 四百二十八圓六十八錢 坂本與一
▲霞町新築社宅給水工事 豫特 二千七百八十三圓 滿洲開發
▲霞町新築社宅排水工事 豫特 五百二圓七十八錢 滿洲開發
▲乃木町一一番地木造社宅補強其他工事 豫特 五百七十六圓 坂本與一

●鐵道事務所
▲夏家河子驛構内地下管改築其他工事 落札 六百六十一圓六十錢 三興洋行
八五四、〇〇 野口電氣
一、一四〇、〇〇 共榮商會
▲中央試驗所四分ノ一馬力空氣攪拌付工事 落札 四百四十圓 日笠製作所
九七〇、〇〇 鳥羽洋行

液體燃料問題の解決は國民總がかりでこれを斷行せよと說くパンフレットが送られて來た

▲日本の燃料國策としては石炭液化事業に偏依することを避け、豐富な油田の開發を怠つてはならぬ、國家危急の現狀に處するには生産費の多少、品質の優劣等を顧慮して居れる場合でないとの論旨

▲それはよく判るのだが、同時にこれは貧弱な油田の持主の利益の見地からの主張であることも窺知される、平和を維持し國威を中外に宣揚するためにといふ目標が文字通りに受け取れるかどうか再考しやう

商況欄

（一月十九日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	二〇片一六分七
同先限	二〇片六分五
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	五〇留比四分三
米英爲替	四弗九七仙〇〇〇
米日爲替	二八弗七〇仙
米支爲替	二九弗八七仙
スチール株	八四弗四分一
アナゴンダ株	五四弗二分一
英日爲替	一志二片三二分一
英支爲替	一志二片八分五
日印爲替	七七留比二分一

▲米棉

限月	相場
現物	一三仙〇八
三月限	一二仙四八
五月限	一二仙三四
七月限	一二仙二八
十月限	一一仙九一
十二月限	一一仙九一
一月限	一一仙八八

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二二六留比
オームラ	二〇三留比
ベンガール	一七八留比

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	一弗三三仙四分三
七月限	一弗一一仙八分七
九月限	一弗一二仙八分一

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
青筋	二二留比四分一
鐵筋	二二留比〇〇

金銀市況

●上海標金 本寄 二三三、九 歩 —

爲替相場

▲上海爲替

向	回	賣	買
▲日本向	第一回	一〇〇四、二五〇〇	—
	第二回	—	—
▲倫敦向	第一回	一志二片三二分五	—
	第二回	—	—
▲紐育向	第一回	二九弗一六分七	—
	第二回	—	—

▲大連爲替

▲上海向 九六、五〇

▲阪神日米爲替 第一回 二八弗二分一 第二回 二八弗八五分

▲阪神日英爲替 第二回 一志二片一六分三 〇〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	高値
東新	一五八、六〇	一五八、八〇
鐘新	三七、〇〇	三八、一〇
滿鐵	六〇、六〇	六一、六〇
大新	九五、五〇	九五、三〇

▲大阪株式（短期） 寄 引

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
大新	九五、六〇	九五、六〇
東新	一五八、三〇	一五八、四〇
鐘新	三六、九〇	三八、一〇
日産	八二、八〇	八二、八〇
日魯	四〇、三〇	四一、〇〇
五品	一六、一〇	一六、一〇
豆新	二一、四〇	二一、四〇
錢鈔	—	—
東新	一五八、四〇	一五八、三〇
滿鐵	六〇、八〇	六〇、八〇
二新	四八、六〇	四八、六〇
日産	八二、七〇	八二、七〇
鐘新	三三、九四	三三、一〇

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一三、五〇	—
東新	一五八、三〇	—
大新	九五、五〇	—
日産	八二、八〇	—
五品	一六、一〇	—
鐘新	一、二〇	—
豆衡	三三、〇〇	—
滿毛	二二、七〇	—
優先	二四、〇〇	—
滿鐵	六〇、五〇	—
同新	四八、七〇	—
電甲	五五、七〇	—
河乙	三一、四〇	—
東拓	三六、七〇	—
滿興	—	—
日魯	四〇、三〇	—
東亞	—	—

各地商品市況

▲大阪棉糸

限月	寄付	大引
一月限	二七一、〇	二六九、九
二月限	二六〇、五	二五九、六
三月限	二五五、四	二五五、九
四月限	二五三、五	二五三、〇
五月限	二五二、九	二五二、四
六月限	二五二、九	二五二、五
七月限	二五一、九	二五二、五

▲大阪棉花

限月	寄付	大引
當限	七四、六〇	七四、七〇
先限	七六、六〇	七六、五〇

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	八三、九〇	八三、一〇
先限	八三、六〇	八三、九〇

新京取引所市況

（一月十九日前場）（一石値段）

現物	寄	引	出來高
大豆	一四、三〇	—	三車
高粱	一三、一〇	—	一車
小豆	—	—	—
吉豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
包米	—	—	—
●大豆 一月限	六、四六	六、三七	三〇車
二月限	六、五四	六、四四	二六車
●高粱 一月限	三、九九	三、八四	四車
二月限	三、九〇	三、八八	三車

各地特産市況

▲大連大豆

限月	寄付	大引
袋入 一月限	七、三四	七、二六
二月限	七、三六	七、三三
三月限	七、五七	七、三七
四月限	七、四〇	七、三二
五月限	七、四四	七、三七
三等現物	七、四六	七、三八
●同豆粕 現物	七、一二	七、〇五
二月限	二、一八五	二、一八〇

限月	寄付	大引
三月限	二、一七五	二、一六〇
四月限	七、一五	—
五月限	—	—
六月限	—	—
●同豆油	—	—

限月	寄付	大引
現物	三四、七四〇	三四、九四〇
二月限	三四、五四〇	三四、五五〇
三月限	三四、六〇〇	三四、六〇〇
四月限	三四、五〇〇	三四、五〇〇
五月限	—	—

〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕 昭和十二年一月二十日 新京日日新聞 (水曜日) 第五千二十四號 (一)

新京日日新聞 朝刊 〔本紙朝夕刊十二頁〕

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅五錢 廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

現役將校及び一部常人 間接關係者に斷罪下る

十九日午後陸軍省發表

〔東京國通〕一世を震駭した二・二六事件については曩に事件直接關係者の處分を終ると共に、後顧の憂ひをなからしめ、肅軍の完全を期するため間接ならびに背後者を徹底的に糺明、檢擧せられたるものは東京陸軍軍法會議に附して愼重審議中であつたが、關係者中の現役將校および一部常人に對し斷罪が下され、十九日午後一時五十八分陸軍省より左の如く發表された

處刑

△禁錮三年 元陸軍中佐 滿井佐吉
△同五年 元陸軍大尉 菅波三郎
△同四年 元陸軍大尉 大藏榮一
元陸軍大尉 末松太平
△同三年 元陸軍中尉 志村陸城
△同一年六ケ月 元陸軍中尉 志岐孝人
△同五年 元豫備役陸軍少將 齋藤瀏

以上は各々陸軍刑法第卅條第廿九條により叛亂者を利する罪として處刑

△禁錮二年 元後備役陸軍步兵少尉 越村捨次郎
△同三年 福井幸
△同三年 町田專藏
△同一年六ケ月 宮本正之
△同二年(四年刑の執行猶豫) 加藤春海
△同一年六ケ月(同上) 佐藤正三
△同一年六ケ月(同上) 宮本誠三
△同一年六ケ月(同上) 杉田省吾

右は各々陸軍刑法第廿五條第二號後段、刑法第六十五條第一項により叛亂罪として處刑、ほかに出版法違反により罰金刑二名、無罪十三名

二・二六事件背後の全貌

犯罪事實の概要

遂行による收拾期し 叛亂軍に便宜與ふ

一、滿井佐吉 は大正十三年十一月陸軍大學校卒業後主として陸軍中央部に勤務し、革新意識濃厚なる青年將校等に接觸せるが、以來本人は直接行動による飛躍的改革には反對なるも萬一合法的に國家の現狀を打開し得ざるにおいては早晩軍內または民間側より直接行動に出づることあるべく、かゝる場合には本人もまた維新轉換に努むることを期しをりたるところ、昭和十年八月相澤事件發生しその辯護人となるや熱情に驅られ、重臣財閥等所謂特權階級に峻烈なる非難攻擊を加へ、相澤中佐の行爲を賞揚するが如き極端なる辯論を敢てし、これがため一部青年將校等の所謂昭和維新斷行の氣運をいよいよ促進助長せしむるの結果を招來するに至らしめ、二月廿六日事件勃發し村中孝次等叛亂者が帝都の樞要地域を占據するや酒井は豫ねて憂慮しありたる不詳事態の遂に惹起したるに驚愕し、この際一歩處置を誤れば混亂擴大しつひに收拾すべからざる事態に陷るべきを懸念し、この蹶起を機としいはゆる昭和維新を實現せしむるとゝもにこれにより事態を圓滿に收拾するのほかなしと決意し、二月二十六日午後三時頃陸軍大臣官邸に至り村中孝次、磯部淺一、香田清貞等と會見しその希望ならびに意見を詳細に聽取してこれを軍首腦部に上申し、同日午後九時頃たま〳〵同官邸に參集せる軍事參議官等に對し叛亂將校等の希望をある程度まで容認し叛亂部隊を處置せしめんと徒らに叛亂部隊を彈壓することなく善處するの要ある主旨を力說進言し、かつ翌廿七日强力維新內閣組織の企圖のもとに戒嚴參謀に對し要望畫策するところありさらに廿八日朝村中より叛亂部隊は維新の實現をみるまでは現位置の占據を維持すべき旨を聞くや軍事參議官の一部、參謀次長、陸軍次官等に對し叛亂者の意思を達成せしむる意圖の下に維新の斷行と叛亂者に對する同情ある處置とにより事態を收拾せんことを具體的方策にわたりて意見を具申しもつて村中等叛亂者に對し軍事上の利益を與へる好意をなしたる者なり

一、菅波三郎 は昭和九年十一月村中、磯部が叛亂陰謀の嫌疑により檢擧せらるゝや同志とゝもにこれが對策を講じ、ついで同十年相澤事件の發生するや同志とゝもに公判鬪爭によりて素志を貫徹せんことを期し、また運動資金の調達をはかり資金數千圓を村中西田等に交附して畫策運動しをりたるものなるところ昭和十一年二月廿六日任地鹿兒島市において今次事件勃發を知り叛亂者の目的達成を支援し事態を維新實現に導き、もつて叛亂者の地位を有利ならしめんことを決意しをりたるが、同日鹿兒島憲兵分隊長が叛亂者と同志關係にある同人に對しその身邊を監視するや大いに憤激し、これを中止せしめんとして同分隊長に對し强硬に折衝を試みたるも右監視の要點は憲兵の職務上の事に屬し明答の限りに非ずとして一蹴せられたるを怒り、廿八日憲兵分隊附近において所屬中隊の夜間演習を實施したる際、憲兵分隊長を訪問の上わが背後には一個中隊の部下現存する旨を放言して同分隊長を脅威し、將來尾行を附せざることを强要し、もつて叛亂擴大を豫防すべき憲兵隊の職務上の行爲を制肘し、更に右夜間演習終了後中隊兵員一同を憲兵分隊前の路上に集合せしめ、當夜の演習に對する講評の後部下ならびに一般市民に對し叛亂者の行動を是認せしむべき意圖をもつて暗にこれを正當視すべき所以を訓話し、「若し余の命ずることに誤りあらば先づ余を殺せ、若し間違ひなしと確信するものは從ひ來れ、余は何時にても先頭に立つべし」と附加し、翌廿九日午前十時頃同市熊本步兵第十三聯隊附步兵中尉志岐孝人の旨を受けて鹿兒島に來れる常人某の來訪を受け、今次事件に對應すべき行動上の指示を乞はるゝや「各人の信念において獨斷決行すべきのみ」と「速かに熊本に歸つた上斷乎たる決心をもつて事に當れ」と激勵し、旅費として金四十五圓を同人に供與しもつて叛亂者を利するため軍事上の利益を害したるものなり

一、齋藤瀏 は昭和五年三月豫備役仰付けられその後明倫會の理事となりたるものなるが、昭和十一年二月廿日栗原安秀よりいよいよ近日直接行動をもつて昭和維新を斷行する旨を告げられその資金調達方の依賴を受けるや遂に同人等軍人の叛亂行爲を幇助せんとの意を生じ、直ちに資金を一千圓調達し、翌廿一日現金一千圓を栗原に供與し叛亂の資金に充當せしめ次で同月廿六日朝栗原より「唯今蹶起せしにつき速かに出馬し軍上層部に折衝し事態收拾に努力せられたき」旨の懇請を受くるや叛亂行爲を支援せんと欲し軍服着用の上急遽首相官邸に赴き叛亂者に對し慰問の言を發してこれを激勵し、更に陸軍大臣官邸に到り大臣に對し青年將校の主張およびその終局の目的とするところを生かす如く臨機徹底的に處置せられたき旨を進言しまた同官邸において陸軍次官に對し將校等の決意を告げその善處方を要請する等叛亂者の主張を擁護聲援したる者なり

事態を有利に導く爲 軍の統制を攪亂

一、大藏榮一 は昭和二年陸軍戸山學校入校以來日本改造法案大綱その他國家革新に關する文獻を閱讀しまた夙に西田稅と相識り深くその國家革新に關する所說に共鳴し同人と親交を重ねるところあり、ついで昭和六年頃より軍內外の一部に起れる急進的國家革新運動の渦中に入り、漸次革新意識を深め、わが國現下の情勢をもつてわが國體に反するものとなし、まづ啓蒙運動を擴大强化して國威の眞姿を顯現せんことを期し、同志青年將校の橫斷的結束をはかり、また民間同志と結びていはゆる昭和維新實現の機運促進につとめをりたるものなるが、昭和十一年二月二十六日任地羅南において今次事件の勃發を知り叛亂者の目的達成を支援し、事態を維新實現に導き、もつて叛亂者の地位を有利ならしめんことを決意し同夜同志四十五聯隊菅波三郎に宛て叛亂者支援の爲め善處方要望の電報暗文を作製し、更に維新實現の氣運を釀成し、上司を推進せしめんことを企圖しその策動により廿七日夕刻所屬聯隊將校の一部が將校集合所に集合したる際、その席に臨み參會者一同に對し全體においてはまづ青年將校を結束して聯隊長を推進し、更に橫斷的に他隊に傳達して師團を動かさゞるべからざる旨を述べてその奮起を要望し、もつて叛亂者を利用するため恣に策動して軍の統率を亂し、軍事上の利益を害したるものなり

一、末松太平 志村陸城は豫ねて今次叛亂事件被告人等と同志的關係にあり革新氣運の促進に努めをりたるものにして末松は自ら所屬聯隊青年將校の指導者をもつて任じ、革新思想の扶植に努めありしが、昭和十一年二月廿六日朝任地青森に於て新聞社等より得たる情報により今次事件の勃發を知り、いまや擧軍一體昭和維新に進むべき時なりとし所屬聯隊長等より輕擧盲動を戒められたるに拘らず相計りて叛亂者の目的達成を支援せんとし、志村は廿七日夜任地青森において東京における叛亂部隊とこれが鎭定部隊との間に相討ちの危險ある旨の情報に接するやかゝる事態の發生を防止するとゝもに叛亂部隊の討滅せらるゝを救はんことをはかり、同日午後九時頃ほしいまゝに戒嚴司令官宛「行動部隊を絕對に窮地に陷るべからず」との電報を發信し末松、志村は同日夜某新聞社の情報により叛亂首謀者たる安藤輝三が東京麴町區山王幸樂にあるを探知し協議の上同人等の士氣を鼓舞せんことをはかり、二十八日午前零時四十分頃同人宛て「師團はわれ等と共に行動するの體勢あり」との電報を發信し、更にその他各地の同志青年將校數名に對し電報或は書信を發送し、その善處方を要望し、もつて叛亂者を利するため軍の統率を亂し軍事上の利益を害したるものなり

一、志岐孝人 はかねてより國家革新問題に關心を有し、同志と氣脈を通じありしが、昭和十一年二月廿六日前任地熊本において今次事件勃發を知りこの際地方同志として右叛亂者を支援しその目的達成のため努力せんことを決意し同日夕所屬隊長の許可を得ずして自ら久留米市に赴き某將校と會見し叛亂者を支援してその目的達成のため奔走する意圖を以て共に上京せんことを勸めたるもかへつて同人より自重を促されて上京を中止して歸熊し、ついで廿七日夜民間同志より九州の同志と連絡したき旨を聞き同人に對し在鹿兒島菅波三郎に對する連絡方を依賴し翌朝旅費として金十圓を與へて出發せしめ、又所屬聯隊將校をして叛亂者の蹶起を是認すべき所以を認識せしむる目的をもつて囊に入手しありし齋藤內府宛に書いた原紙使用の文書を謄寫印刷し、所屬聯隊長よりその配布を禁ぜられたるに拘らず翌廿九日午前同聯隊將校數名にこれを交附し、更に聯隊外同志將校二名に宛て若干部を郵送する等叛亂者を利する爲軍事上の利益を害したるものなり

昭和維新の實現期し 外部工作に狂奔

一、宮本正之 はかねてより右翼運動の興味を有し昭和八年頃金澤市において國粹會石川支部に加盟し同運動に從事中村中、磯部、西田等と逐次相識り同人等の指導感化により漸次その信念を强め同十年頃村中孝次よりいはゆる昭和維新斷行のため軍民一致の輿論を作興すべく指示せられ、これがため同年七月頃西田稅の示唆により金澤市に天劍黨を結成し中央において維新斷行の效果擧りたる際、これと相呼應蹶起すべき別動隊たらしむべく同志淸水一郎外十數名を獲得しこれが指導の任に當り又越村捨次郎(三〇)は我國現下の情勢をもつて我國體に反するものとなし昭和十年四月頃宮本正之と相識るや互ひにその信念を披瀝して意氣投合し同志として相携へ所謂昭和維新に邁進せんことを期し、同年八月頃より村中孝次と直接文通連絡により意見を交換するとゝもに同年十月頃より前記天劍黨の顧問として在京同志蹶起の際これと相呼應して蹶起すべき時機を待望してゐたるものなるところ今次事件勃發するや右兩人はいづれも二月廿六日午前九時ごろまでに右蹶起の事實を知り、かねて村中、磯部等と連絡決定せる企圖に基き行動せんと欲し、金澤市石浦町事業通信社に集合して情報の蒐集に努むると共に地方同志としてとるべき實行計畫につき協議の上まづ石川縣知事をしていはゆる昭和維新斷行の主旨に贊同せしむるため同正午頃相携へて知事に面接せんとしたるも果さず、ついで兩人は他の同志と共に各自日本刀一振づゝを携へ同市所在の天劍黨に赴きかねて參集せる同黨員數名に對しいよいよわれ等同志待望の維新は來れり、この情勢を機會に蹶起すべきにつき各員はその覺悟をもつて自重指令を待つべき旨傳達し翌廿七日越村捨次郎は同市廣坂警察署に赴き知事に面會斡旋方を要請したるも拒絕せられ遂に憤怒逆上し單身恣に知事に面接せんとしこれを阻止せんとした同署勤務土田警部補に對し同署備付の帶劍をもつて同人の左親指等に治癒約一週間を要する切傷を負はしめたる等の行爲をなしもつて東京における叛亂部隊と相呼應しその目的達成のため各種工作をなしたるものなり

一、福井幸 は大正十三年三月佐賀縣師範學校卒業後支那浙江省日本人小學校に勤務したるが國內外の狀態は國體に悖るものありとなし、豫ねてより進步せる日本改造法案大綱の趣旨に基き國家の革新をはからざるべからずと思惟するにいたり遂に昭和八年三月右教職を辭して歸國上京し、爾後北一輝に接觸師事し、次で西田稅、村中等と相識り、同志關係を結ぶにいたり益々その所信を强め維新實現のためには越法的直接行動も亦敢て辭するところに非ずとなすに至りたるところ、相澤事件勃發するや村中、磯部、西田等とゝもに「大眼目」を發行し激越なる辭句をもつて維新斷行を煽動せる事を揭載し密かに軍部および民間同志に頒布する等一意維新促進に努めたるものである

一、加藤春海 は昭和六年三月東京帝國大學工學部を卒業し同十年十二月埼玉縣岩月町土木事務所長を命ぜられ目下休職中なるが弘前高等學校在學中より日本改造法案大綱の趣旨を遵奉し上京後西田、澁川、福井等と親交を結ぶにおよび國家革新の實現を期するためには場合によりては越法的直接行動もやむを得ずとの信念を鞏固にし維新運動の同志となり活動し來りたる者なり

一、佐藤正三 宮本誠三は共に弘前高等學校を卒業後昭和五年末以降相前後して修學のため上京したるがいづれも日本改造法案大綱の所說に共鳴し西田、澁川、福井等と交友して信念を固め國家革新の實現を期するためには場合により非合法手段も亦已むを得ずとなし、福井等の活動に協力し維新運動に從事したるものなり

一、杉田省吾 は豫てより國家革新は歷史的必然なりと確信しその指針として日本改造法案大綱の趣旨を信奉し西田、村中、磯部等と親交を結びて維新氣運の促進に努力し居りたるものなるところ福井幸は昭和十一年二月廿五日西田宅を訪れたる際同人より今次事件の勃發を豫告せられ翌廿六日朝叛亂の勃發を知るや西田宅において情報を蒐集し、また加藤、佐藤、宮本もこの叛亂勃發を知るや西田方に至り事件の概要を知り何れもこの機に乘じ維新達成の目的をとげんことを欲して、維新同志會同人名儀の下に「二月廿六日早朝維新皇軍東京部隊大擧蹶起し云々」と冒頭し各地の軍關係および地方同志の蹶起したる昭和維新第一法の原稿を作成し同夜佐藤、宮本の贊同を得たる上共に右文章を印刷しこれを各地軍關係および民間同志に郵送配布しもつて蹶起を煽動し又右四名はいづれも澁川善助が叛亂部隊に參加しあるの情勢を察知しゐたるに拘らず同月廿七日朝西田宅において澁川善助と會同し協議の末地方同志の蹶起を促すため青森步兵第五聯隊に勤務中の步兵大尉末松太平のもとに佐藤を派遣すべきことを決定しよつて同人は廿日朝青森市街なる末松宅を訪ひ同人の奮起を促したり、しかして福井は前同樣名儀のもとに一層過激なる昭和維新第二法ならびに同續報を作成し、さらに福井、佐藤、加藤、宮本は同第三法ならびに昭和維新の大詔渙發請願原案を作成し蹶起趣意書とゝもにこれを各地軍民同志に郵送頒布しもつてその蹶起を促すとゝもに昭和維新の大詔渙發の請願をなすべきことを煽動し杉田は同十一年二月二十六日午前七時頃澁川より「今曉青年將校等が出動し重臣等を襲擊中なる」旨の電話を受け、この機において維新達成の目的を遂げ事を觀望し爾後澁川、西田等より情報を得てこれを民間同志に傳へんことを努めゐたるが同日午后八時頃澁川より電話をもつて叛亂部隊兵士に對し握りめし、菓子等の給與方を勞働團體方面に交涉せられたき旨の依賴をうけこれを承諾した更に翌廿七日午後四時頃北宅において西田と會見其際同人より叛亂部隊の情報を西田宅にある福井加藤等に傳達すべき依賴をうけ同人等右情報を告げたる上澁川が叛亂部隊に參加しあるの情勢を察知しゐたるに拘らず同所に於て澁川および福井、加藤、佐藤、宮本等昭和維新第三法案を作成する請願文案を協議作成するに當りてはその趣旨に贊同してこれに協力し該文書を頒布するにいたらしめて各地同志の蹶起を促すと共に昭和維新の大詔渙發の請願をなすべきことを煽動しもつて以上五名はいづれも叛亂に共同加擔してその外部工作に從事したるものなり

糧食を運搬配給 安藤部隊と共に行動

一、町田專藏 は昭和七年より大日本生產黨に加入し爾來國家革新運動に奔走しゐたるが昭和八年七月いはゆる神兵隊事件に連座して檢擧せられ釋放後は同黨幹部理事に就任するかたはら千代田通信社および帝國新報社等に囑託として各種情報の蒐集に從事してゐたるところ、今次事件起るや二月廿八日午後五時頃叛亂者の占據所たる永田町料亭幸樂に入りかねて面識ある安藤輝三に面會し、同人より蹶起の主旨を說示せられ痛く共鳴感激しこゝに右叛亂に參加し同人等と相提携して維新達成に協力すべき決意を披瀝し同人の承認を得、爾後同月廿九日午後一時頃までの間に或は蹶起の主旨ならびに叛亂者の情勢を所々に傳へてこれを讚美慫慂し、或は大日本生產黨本部に陣中見舞品の寄贈を勸說したるのみならず、自らも酒肴を提供して叛亂將兵の勞をねぎらひ、もつて叛亂者の士氣を鼓舞激勵するにつとめ、且つ同月二十九日朝安藤に從ひて山王ホテルに入り同人の身邊の世話その他の雜務に從事したるのみならず歸順說得のため來れる將校等に對して叛亂軍を尊王義軍と認め斷じて武力を以てこれを討伐せざるやう極力懇請したるが、糧食の運搬配給に從事する等終始安藤の部隊と行動を共にし以て叛亂に共同加擔したるものなり

軍側關係者の略歷

菅波大尉

步兵大尉菅波三郎(三四)は宮崎市別府町上別府一番地出身、大正七年九月熊本陸軍地方幼年學校入學、非常な秀才で同校卒業のときは畏くも皇太子殿下から銀時計を賜つてゐる、士官學校に進んでも成績優秀、沈默寡言の模範生だつた、大正十四年七月陸士第卅七期生として卒業鹿兒島步兵第四十五聯隊附となり、昭和三年四月濟南事件に出征して力戰勇名を輝して同年九月凱旋して中尉に昇進、六年八月麻布步兵第三聯隊附になつたが、國家革新に關心を持ち始めたのは陸士在學中からで濟南出征後はいよいよその覺悟を深めるに至り、五・一五事件にはその背後の大立物として事件參加の陸軍側士官候補生の信望を一身に集めてゐた、その後兎角の噂があつたが七年八月滿洲獨立守備步兵第一大隊附となり九年三月大尉、十年八月鹿兒島步兵第四十五聯隊中隊長となつた、故野中大尉、故安藤大尉等も彼に對しては大いに尊敬を拂ひその人物に私淑してゐた

大藏大尉

大藏榮一大尉(三五)は大分縣日田郡日田町大字隈一五六の生れ、菅波大尉とは熊本幼年學校から士官學校までずつと同期生で、豪放磊落、風采などは一向氣にかけぬ線の太い人物だつた、大正十四年陸士第卅七期卒業と共に羅南步兵第七十三聯隊附になつた、劍道と體操の達人でこの二種目の競技會には學校時代いつも優勝し、劍道は四段精練證の腕前であり、昭和二年三月には陸軍戸山學校甲種學生として入學、三年一月卒業、同年十月中尉となり四年一月戸山學校教官兼同校研究部々員となり、九年三月には大尉に進級、十年十二月再び羅南步兵第七十三聯隊中隊長に補せられた、少尉として羅南に赴任して以來東亞問題について深い關心を持ち、進んで國家革新を目指すに至り秦眞次中將、西田稅、北一輝等とは特に親交があつた

末松大尉

步兵大尉末松太平(三三)は原籍門司大里四〇四〇九、昭和二年七月陸士第卅九期卒業、同年十月步兵少尉に補せられ步兵第五聯隊附となり同三年十月步兵學校入校、同年十二月同校卒業、五年十月步兵中尉、六年八月戸山學校入校、六年十一月滿洲事變の爲退校出征、九年十月步兵學校入校同年十二月同校卒業、十年八月步兵大尉、同年十二月步兵第五聯隊附步兵砲隊長となり十一年三月步五附

志村中尉

步兵中尉志村陸城(二七)は原籍宮城縣登米郡米山村西野字下小路一二一、昭和七年七月陸士第四十四期卒業、同年十月步兵少尉補步五附滿洲出征九年四月凱旋、同年十月步兵中尉、同年十二月步兵學校卒業

志岐中尉

步兵中尉志岐孝人(二七)は原籍福岡縣三潴郡大川町榎津六二八の二、昭和七年七月陸士第四十四期卒業、同年十月步兵少尉補步十三附、同年十二月滿洲出征、昭和八年九月凱旋、昭和八年十月步兵學校乙種學生入校、十二月同校卒業、同九年十月步兵中尉

越村捨次郎

越村捨次郎(三六)は金澤市材木町四丁目生れ、同市横山町二番町二五居住、大正十年三月金澤一中を卒業し、同十二年十二月幹部候補生として金澤第七聯隊に入營、除隊して步兵少尉に任官、昭和二年夏名古屋鐵道局本局に雇員として勤務、同七年暮、名鐵某局長が國體問題に關して單行本を局員に五十錢で配布したのに憤慨し、全國名鐵道局にこれを痛擊したパンフレットを配布して馘首され、同八年金澤に歸り解雇を不當とし當時の鐵道大臣、名鐵局長等を相手にとり金澤地方檢事局に告訴したが不受理となつたのでさらに東京檢事局に告訴これも不受理となり憤慨してゐた同人は最初左翼であつたがその頃松岡洋右氏に共鳴して右翼に轉向して神武會に入り政黨解消聯盟の一員として活躍、青年將校連と通聯して中央部の右翼と連絡してゐた

滿井中佐

陸軍步兵中佐滿井佐吉は陸軍切つての熱血理論家として知られた人で、本年四十四歲福岡縣企救郡企救村大字横代(小倉市外)の出身、大正三年五月陸士第廿六期步兵科を優秀な成績で卒業、同年十二月大分步兵第七十二聯隊で步兵少尉に任官、西伯利亞事變には中尉として出征勳功により勳六等旭日章を授けられた凱旋後大正十年十二月陸大に入校、同校卒業後陸軍省軍務局勤務、ついで步兵少佐時代に軍事研究のため獨逸に出張、復興途上の獨逸を詳さに研究して昭和五年歸朝、同七年八月久留米步兵第四十八聯隊大隊長に任ぜられ、八年八月步兵中佐に進むとゝもに陸軍省軍事調査部員に擢でられたが、在任わづか一年にして陸大兵學教官に轉出した、性質は極めて純情で猛烈な勉强家であつたが、それだけに世情に慷慨悲憤し、矯激なる議論を吐くことも多く久留米在任時代は大牟田出護國軍團事件、陸軍省勤務中は政治論議で議會の問題を起し、又陸大に轉出後は例の相澤中佐の特別辯護人を引受けるなど兎角問題の渦中にあつた

齋藤少將

豫備役陸軍少將齋藤瀏は明治十二年四月十六日生れ本年五十八歲、本籍地は長野縣松本市大字北深志三五八番地、明治卅三年十一月陸軍士官學校第十二期步兵科を卒業、翌卅四年六月步兵少尉に任じ、近衛步兵第一聯隊附に補せられた、日露戰役には同聯隊第一大隊副官として出征、各地に轉戰中隊長となり、凱旋後明治卅八年十一月陸軍大學に入校、四十二年十二月優秀なる成績をもつて同校を卒業しその後士官學校、教育總監部課員を歷任、大正三年二月步兵少佐に昇進、翌四年四月には旭川步兵第廿七聯隊大隊長次いで五年十一月には第七師團參謀に補せられた、大正十一年二月には中佐をもつて小倉聯隊區司令官に轉じその後小倉步兵第四十七聯隊長、第七師團參謀長等の要職を經て昭和二年三月少將に進級後熊本步兵第十一旅團長に補せられ、濟南事變に際しては部下旅團を率ゐて出征、奮戰英名を謳はれたが時の師團長福田彥助中將と合はず、昭和五年三月六日待命、次いで同年三月廿五日豫備役に入り退職後は右翼運動に常に多大の關心を持つて居た、同少將は陸軍部內でも有名な名文家、硬骨漢として知られ、また佐々木信綱博士の主宰する竹柏會同人として歌壇にもその名を知られてゐた大風流將軍である、家庭には夫人きく(四八)さん、長男男堯(三〇)氏がある

民間側關係者

杉田省吾

杉田省吾(三六)は茨城縣筑波郡葛城村下平塚一五〇生れ日本橋區本町四の一四居住、北京同學校(語學校)を卒へて渡支し上總新聞を經て萬朝報に入りロンドン軍縮會議に特派された、その後北一輝等と交はり右翼運動に參加した

福井幸

福井幸(三五)は佐賀縣佐賀郡高木瀨村高木三二三生れ、淀橋區柏木町四ノ九七九居住佐賀師範卒業後大正十四年八月上京、日大、早大、明大等に學び昭和三年渡支、邦人小學校教師となつてゐたが、昭和八年歸國し北、西田と共鳴し新聞『大眼目』を發行して國家主義運動に奔走してゐた

加藤春海

加藤春海(三三)は福島縣伊達郡保原町下河原二四生れ、埼玉縣大宮市清水公園內に居住、弘前高校から東大工學部を卒業し檢擧前まで埼玉縣土木技師岩槻町土木出張所長であつた、かつて藤村又彥等とゝもにロンドン條約反對運動を起し、西田、北、澁川等と交友關係があつた

佐藤正三

佐藤正三(二四)は青森縣弘前市鷹匠町四〇生れ、杉並區阿佐ケ谷三の二五六東成莊居住、弘前高校を卒へて中央大學專門部に入學同校學生、高校時代加藤春海の指導を受け西田稅の所に出入して右翼運動をつゞけてゐた

宮本誠三

宮本誠三(二九)は青森縣下北郡大湊町大平字荒川四五生れ、目黑區三田町五四大倉方止宿、帝大宗教科在學、加藤春海の指導を受け右翼運動に入つたが未だ大した役割をつとめてゐなかつた

宮本正之

宮本正之(二三)は石川縣金澤市六斗林二丁目生れ、當時高岡市に居住してゐた

〝產業國策に對する 內地方面の懸念一掃〟

岸實業部總務司長昨夜歸京

產業五ケ年計畫案の根本方針打合せ及び之が資金計畫に關し大藏省、商工省、農林省、陸軍省等關係當局に該案說明の要務を帶びて過般來初の東上中であつた實業部岸總務司長は夫人同伴十九日午後十時着列車で歸京したが、歸頭左の如く語る【寫眞は岸總務司長】

先日松田處長が歸京したので今更何の土產話もないが今回の上京目的は滿洲國の五ケ年計畫案の詳細を各關係當局に說明するためであつた、巨額の資金吸收を必要とする目前の急務に當り最も憂慮されてゐるのは五ケ年計畫遂行に際し、內地產業との抵觸關係、即ち滿洲國の產業勃興は內地產業を抑壓するだろうとの危惧であつたが、吾々の說明で全く諒解が成り、寧ろ五ケ年計畫程度の滿洲國產業の積極的進出は內地產業を壓迫するどころか、原料の供給、產業的な連絡に依つて緊密なる效果を收め、相提携して產業の促進に拍車を掛けるものと期待される情勢にあり、當路の責任者として意を强うしたわけである

偶語

曩に新京署高等係が檢擧して各方面に一大衝動を與へた例の國際銀公司事件の[illegible]により▼內地各界の滿洲に對する認識を如何なく暴露し在滿邦人を啞然たらしめたが▼今度は又もや日本の國都東京の眞中で募主婦代理の新聞廣告により▼六十餘名の花嫁候補を丸の內ホテルに集めた事から丸の內署の活動となり▼本尊をつきとめて見ると世田谷區に豪壯な邸宅を構へる前熱河運送株式會社社長で▼資產百三十萬圓を有する中村岩夫と判明警察でも百萬長者の謎は解けたとばかり始末書一本でケリをつけた▼所がアラビアンナイトの主人公中村は吹くも吹いたり俺は事變鎭定後熱河運送會社を創設社長として働いたが昨年郷愁起し妻をつれて三十年振りで日本の土を踏んだが▼妻は八月中旬不歸の客となつたので渡滿舊臘卅一日一切を淸算して歸つたのだと唯彼の別なく嫗に卷いてゐる▼滿洲では彼のことが新聞に出ると社長とは眞分を洗つて見ると通運會社のトラックの運ちやんで▼モヒ密賣の常習犯と判明した▼豪壯な邸宅はモヒで儲けた金に相違なからうが取調べ當局が滿洲に對する認識がないために▼彼はマンマと言ひのがれが出來たといふものだ當局よ今少ししつかりせい

社説

尨大豫算と物價
滿洲からの關心

一

三十億四千萬圓といふ尨大豫算が物價騰貴の大きな原因となるであらうことは夙に豫想されてゐたところである。最近の物價の情勢を見ると、この一般的豫想以上に物價は急速度に、また大きな幅をもつて昻騰してゐるのが知られる。それには無論、世界的物價高とか、爲替管理の强化とか、生産設備が需要增加に追ひ付き得ない事情とかが影響してゐるであらう。またこれらのすべてを材料としての、假需要の增大といふこともあるに違ひない。しかしやはり尨大な豫算案といふものが、實際に作用した最も强大な原因となつてゐることは疑ひを容れない。

二

ところで物價昻騰の結果として、はやくも豫算執行難の聲があげらるるに至つたことは、かつては尨大豫算の消化難さへ唱へられたのを考へると非常な變化である。一時は器材材料の調達難とか供給難とかによつて、所定の金額を年度内に消費し盡すことが困難であらうとさへ見られてゐたのである。それが今では反對に、物價の急騰で豫算の執行難さへ憂慮さるるに至つてゐる。但し、さきに懸念された消化難の事實もやはり殘つてゐると見なければならぬ。これは觀念上には矛盾してゐるのであるが、實際には同時的にも併存し得るものであるからである。

三

豫算の支出を急がないやうにといふ通牒が發せられたといふことであるが、それは無理な支出を防ぎ、從つて物價の昻騰を促進することを避けその結果、豫算の執行難を緩和することにもなるであらうしかしこれも姑息的な對症的な手段にとどまる。國民生活の不安といふことがすでに問題となつてゐるのである。現に組まれてゐるやうな尨大豫算の場合、それが物價に大なる影響を及ぼすことは明白に看取されてゐた筈である。從つて、物價の統制といふことが當然そこに考慮さるべき道理である。統制主義の政治、經濟は、何も電力統制や金融統制等で限らるべきものではない。物價統制といふことが政府の重大な任務となつてゐることは指摘出來る。これらの問題を考へるとき、當然われわれは滿洲國に於ける豫算についても考慮する。滿洲國のそれが日本の場合と大いに異つた事情にあることは明らかである。が、經濟的に愈よ日本との連繫を深くして行くこの國である。こゝに單獨に考へられない問題は種々存してゐる。日本に於ける情勢の推移につねに注視することの必要も明瞭である。

硫安輸出入許可制 滿化製品にも及ぶ
十八日重要肥料業統制委員會

【東京國通】十八日重要肥料業統制委員會を通過したる硫安輸出入許可制は最近供給不足見越しで

騰勢

にある硫安市價の調整に當局が本腰に乘出したものでこれにより「上半期需要期において外國硫安を内地市價で輸入するかはり下半期不需期において内地製品を無制限に輸出し海外市場を攪亂せざるやうに」との歐洲シンヂケートの要求は貫徹されたわけで當局の外安輸入による市價調整工作は一歩進められた、しかし右許可制は滿洲化學工業會社に對しても拘束力を有し、かつ同社製品を上半期に輸入する結果、下半期において現實に過剩となる場合、當局も輸出を阻止することは困難であらうとして、歐洲シンヂケート側はなほ無條件輸入には警戒的態度を持し、今後製造業組合と當局との間に決定さるべき需給數量の成行きを注視してゐる、一方製造業組合においても當局が經濟界の大勢を無視して市價操作に

狂奔

するのあまり、硫安工業の圓滿な發展を阻害することなきやう監視してゐる

昨年度の綿布輸出高

【東京國通】輸出綿絲同業會調査昨年中の日英綿布輸出角逐狀況は日本廿七億六百一萬七千平方ヤード、イギリス十九億一千六百九十八萬七千平方ヤードと我國が七億八千九百三萬平方ヤードの大差をもつて依然不振のランカシアを抑へ、過去四ケ年間連續して世界綿業の王座を占めた、しかして仕向地別にみれば左の如くわが國は支那、滿洲國、香港、印度等のアジア市場においてイギリスを壓倒し、歐洲、アフリカ洲、南米、濠洲等においてランカシアにその首位を讓つてゐるが、日英とも輸出總數は世界各國の輸入防遏にともなひ前年に比しわが國は九百十十七萬二千平方ヤード、イギリスは三千二百十二萬五千平方ヤード方それぞれ減退を示し、殊にランカシアの減退著しい點が注目される、わが國輸出高左の如し（單位千平方ヤード）

仕向地	輸出高
香港	四七〇、一九三
印度	四七九、八八三
蘭印	三五一、四七九
歐洲	一四二、一八二
南米	一七九、一四六
エヂプト	一〇六、一二三
アメリカ洲	三五九、五四四
濠洲	六九、七一八
その他	五四七、七四九
計	二、七〇六、〇一七
前年	二、七一二、七八九

惠通航空公司 新事業計劃

【天津十九日發國通】惠通航空公司董事長張允榮氏は病氣を名に辭職したことは既報の如くであるが、後任に決定せる天津市長張自忠氏は十八日午後二時就任式を擧行、董事職員に訓示した後、將來の事業計畫につき協議するところあつたが、大要左の如くである

一、飛行機操縱士訓練班の新設まで日支人四十名を募集招請する、右は短時日内に實現せしむ

一、航空連絡と航空郵便の實施即ち天津、哈爾濱の直接航空および天津、大連、東京間の航空連絡の實施ならびに通郵をなるべく速かに實現する

而してダグラス大型飛行機は目下日本に註文中にして右製作完了を待ち實現の運びに至るものと見られてゐる

カラコルムK・2峰 京大山岳部遠征計畫
英國大使館に入國願提出

【東京國通】立教登山隊が謎の大水晶宮ヒマラヤチンダコツトを征服したのに力を得たわが山岳界はヒマラヤへ更に果敢な攻撃を行ふこととなり東亞の巨峰征服に輝かしい功績をたてた京都帝大山岳部は一九三八年夏を期し英國のエヴエレスト攻撃、ドイツのカンチエンヂユンガ攻撃にも比すべきヒマラヤ連峰の最奥地世界第二の巨峰K・2を有するカラコルム・ヒマラヤのバルトロ氷河探險といふ世界的大計畫を樹立、十八日外務省を通じて英國大使館宛て正式に入國許可を申出た、全世界のヒマラヤンを向ふにしてその規模の豪壯、その山容の急峻な點でエヴエレスト山群を凌ぐカラコルムの山群に壯烈な突擊を開始する山の勇士は隊長京都帝大教授木原農學博士、西堀理學博士、淺井醫學博士以下白頭山、興安嶺征服に鍛ひ經驗をもつ京大O・Bおよび現役を選りすぐつて十名乃至十五名で遠征隊の構成からみて單なる登山技術上の收穫のみならず地理學、生物學、生理學の方面からも素晴しい收穫が期待され早くも各方面の深甚な期待を集めてゐる

ゼネモータースの爭議 再び惡化

【デトロイト十八日發國通】ゼネラルモータース會社と全米自動車從業員組合に加入してゐる勞働者代表との和協交渉は十八日デトロイトにおいて開會、開會早々兩者意見對立し會見僅か四十五分でこの交渉は決裂した決裂後ゼネラルモータース側、タールマン副社長は長文の聲明を發表し勞働者が先づ工場を撤退しない限り我々は團體交渉に應ずるわけには行かないと依然强硬であり、一方自動車從業組合員長ホーマーマーチン氏は

われわれの態度は前週聲明した通りで依然として變りはない

と語つてゐる

どこまでが芝居か 神秘の西安劇
ヘラルド・トリビユーン紙評

【ニユーヨーク十八日發國通】ヘラルド・トリビユーン紙は十四日の紙上に「西安神秘の持續」と題する社說を揭げ左の如く論じてゐる

西安の狀態に關する報道は手加減して解釋せねばならぬが、西安が共産軍の手中に陷つたことは確からしい一九二九年以後に於る蔣介石氏の防共工作は何等效果なく全共産軍をして支那西北部に集結させ共産軍指導者を一堂に會せしめ、更に新疆を通じてソヴイエト聯邦と直接連絡させ殘勞せる學良軍をして日本帝國主義に對する統一戰線といふ誘惑的煽動の虜たらしめたに過ぎない、中國共産黨書記長毛澤東は過去一年にわたり南京政府に對して民主的代表政府の設置を提議、更に抗日宣戰を條件として共産軍をかゝる政府の組織下に置くことを提議して來たかゝる提議こそ張學良氏が過日西安で要求したところに外ならぬ、もつとも張學良氏がかゝる容共政策を自己の意思で要求したのか乃至部下に强要されて主張したのか、蔣介石氏と張學良氏が共同して强力な剿匪を計畫、共産軍に目つぶしを食はせて西安を脱走したのか、蔣介石氏は最後まで共産軍を抗日戰線における同盟軍とすることに同意せぬ意向か等は誰も知らないなぞだ、共産軍との密約によつて蔣介石氏を隱退し張學良氏は悔悟を表明しながら他方剿匪軍は共産軍が西安を根據に北支那を襲ふ準備に對して拱手傍觀してゐるこれに對し日本政府が疑惑を懷くのは自然のことである

鐘紡、兵庫工場 日給引上げ

【神戸國通】鐘紡の兵庫工場ではこの程一率に日給五錢を値上した、その代り一日の男工食費十八錢を二十錢に、女工十五錢を十七錢にそれぞれ値上した

日伊學會 近く成立

【東京國通】日伊教授の交換に續く學生の交換等最近急速に接近して來た日本とイタリーとの文化關係はこのほど設定された日伊文化協會の誕生を見、將來の發展を約束されたが、さらに古い傳統の上に立つ二つの國の學びを堅く握手させる目的で日伊學會が生れ出やうとしてゐる、同會はアウリツチ伊國大使を名譽會長とし大倉喜七郎男を會長、姉崎正治兩博士をはじめイタリー關係の學界を總動員して近く東京に創立されるもので古代ローマからの歷史を背景として絢爛たるルネツサンス文化の發祥地であるイタリー音樂、文學、その他萬葉から明治以後に至る飛躍的な發展までの神道精神に貫ぬかれた日本獨特の大和文化、さらに最近異常な進步をとげた兩國近代の自然科學はこの學界が企圖する學者、學生、藝術家等の交換によつて世界史的な交流を豫想され、さらに同會の事業としての音樂會展覽會映畫會等は二つの古典から生れる世界の美を伸張させる上に大さな役割を果すものとして各方面の期待を集めてゐる

イングランド アイルランド間に 新互惠通商協定

【ロンドン十七日發國通】英國植民相マルコム・マクドナルド氏は去る十四日アイルランド自由國首都ダブリンに乘込みデ・ヴアレラ首相と數回に亘つて會見したがサンデー・テスタツチ紙の報道によればイングランドとアイルランド間に新互惠通商協定が成立しイングランドはアイルランドの牛皮と家畜に對する關稅を引下げその代償としてアイルランド自由國はイングランドの加工製品に對して關稅を引下げることゝなつたと、なほマクドナルド植民相との間に英國とアイルランドとの間に種々の重要問題について意見が一致したと傳へられる

滿洲國新刑法（十一）

第三十四章 竊盜の罪

第二百四十二條　人の財物を竊取したる者は七年以下の徒刑に處す

第二百四十三條　人の住居に侵入し又は二人以上共同して前項の罪を犯したる者は六月以上十年以下の徒刑に處す

第二百四十四條　人の財産上の利益を竊用したる者は三年以下の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

第二百四十五條　他人の占有する自己の財物を竊取したる者は五年以下の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

第二百四十六條　本章の罪の未遂犯は之を罰す

第二百四十六條　直系親族又は配偶者の間に於て本章の罪を犯したるときは其の刑を免除し其の他の親族の間に於て本章の罪を犯したるときは告訴を待て其の罪を論ず

第三十五章 强盜及勒贖の罪

第二百四十七條　暴行、脅迫其の他の方法を以て人の抵抗を抑制して財物を强取し又は財産上不法の利益を得たる者は五年以上の有期徒刑に處す

前項の方法を以て第三者に財物又は財産上不法の利益を得しめたる者亦同じ

第二百四十八條　常習として前條の罪を犯したる者は無期又は七年以上の徒刑に處す

第二百四十九條　他人の占有する自己の財物を强取したる者は二年以上十年以下の徒刑に處す

第二百五十條　竊盜贓物の取還を拒ぎ逮捕を免れ又は罪證を煙滅する爲暴行又は脅迫を爲したるときは强盜を以て論ず

第二百五十一條　强盜人を傷害したるときは死刑又は無期若は七年以上の徒刑に處す

强盜人を死に致したるときは死刑又は無期徒刑に處し人を殺したるときは死刑に處す

第二百五十二條　强盜放火又は强姦を爲したるときは死刑又は無期若は十年以上の徒刑に處す因て人を死に致したるときは死刑に處す

第二百五十三條　人を捕へて贖償を勒要したる者は死刑又は無期若は五年以上の徒刑に處す

前項の罪を犯し人を死傷に致し又は强姦したる者は死刑又は無期徒刑に處し人を殺したる者は死刑に處す

第二百五十四條　第二百四十七條、第二百四十八條又は第二百五十三條第一項の罪の豫備犯を犯したる者は十年以下の徒刑に處す

第三十六章 詐欺及恐嚇の罪

第二百五十五條　人を欺罔して財物を騙取し又は財産上不法の利益を得たる者は十年以下の徒刑に處す

前項の方法を以て第三者に財物又は財産上不法の利益を得しめたる者亦同じ

第二百五十六條　人を脅迫して財物を喝取し又は財産上不法の利益を得たる者は十年以下の徒刑に處す

前項の方法を以て第三者に財物又は財産上不法の利益を得しめたる者亦同じ

第二百五十七條　他人の占有する自己の財物を騙取又は喝取したる者は五年以上の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

第二百五十八條　本章の罪の未遂犯は之を罰す

第二百五十九條　第二百四十六條の規定は本章の罪に之を準用す

第三十七章 横領及背任の罪

第二百六十條　自己の占有する他人の財物又は財産上の利益を横領したる者は五年以下の徒刑又は二千圓以下の罰金に處す

第二百六十一條　業務上自己の占有する他人の財物又は財産上の利益を横領したる者は十年以下の徒刑に處す

第二百六十二條　他人の事務を處理する者專ら本人の利益を圖るに非ずして其の任務に背きたる行爲を爲し本人に財産上の損害を加へたるときは十年以下の徒刑又は五千圓以下の罰金に處す

第二百六十三條　遺失物、漂流物其の他占有を離れたる他人の財物を横領したる者は二年以下の徒刑又は五百圓以下の罰金に處す

第二百六十四條乃至第二百六十二條の罪の未遂犯は之を罰す

第二百六十五條　第二百四十六條の規定は本章の罪に之を準用す

第三十八章 贓物に關する罪

第二百六十六條　贓物を收受したる者は三年以下の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

第二百六十七條　贓物を運搬寄藏、故買又は牙保したる者は十年以下の徒刑及三千圓以下の罰金に處す

前項の罪の未遂犯は之を罰す

第二百六十八條　直系親族又は配偶者の間に於て前二條の罪を犯したるときは其の刑を減輕又は免除す

前二條の罪の被害者と前項の身分關係を有する者と前項の身分關係を有するとき亦同じ

第三十九章 損壞の罪

第二百六十九條　他人の物を損壞若は毀棄し又は其の他の方法を以て效用を害したる者は三年以下の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

第二百七十條　標識を損壞、移動若は除去し又は其の他の方法を以て土地の境界を認識すること能はざるに至らしめたる者は五年以下の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

第二百七十一條　他人の占有に屬し又は抵當權を負擔したる自己の物を損壞若は毀棄し又は其の他の物を以て效用を害したる者は三年以下の徒刑又は千圓以下の罰金に處す

他人の建造物、艦船又は航空機を損壞したる者は七年以下の徒刑又は三千圓以下の罰金に處す

第二百七十二條　强制執行を免るる目的を以て財産を隱匿・讓渡又は損壞したる者亦前項に同じ

第二百七十二條第一項及前條の罪は告訴を待て之を論ず

附則

本法施行の期日は勅令を以て之を定む

商況欄（一月十九日）後場

●上海標金

前引	一二三、四

●上海爲替

日本向	
第一回賣	一〇四、二五
第一回買	一〇四、五〇

倫敦向	
第一回賣	一志二片三二分一九
第一回買	八分五

紐育向	
第一回賣	二九弗一八分七
第一回買	六分三

株式相場

▲大連株式（短期）

品	寄	引
五品新	一六、一〇	—
豆新	二一、四〇	—
錢鈔	—	—
東新	一五九、〇〇	—

▲奉天株式（短期）

品	寄	引
滿鐵	六〇、八〇	—
二新	四八、六〇	—
日産	八二、八〇	—
鐘新	二八、五〇	—
土木	—	—
新日産	三一、八〇	—
滿取	一三五、〇〇	—
東新	一五八、〇〇	—
大新	五五、〇〇	—
日産	八二、四〇	—
鐘新	一三九、四〇	—
五品	一六、一〇	—
豆新	二六、六〇	—
滿鐵新	四八、四〇	—
同甲	五三、七〇	—
電拓	二三、七〇	—
東毛	一二、七〇	—
滿先	五五、〇〇	—
優日	四〇、八〇	—

手形交換高（十九日）

三六九枚五五六、六四五、六七

新京取引市況

現物（一月十九日後場）（一石値段）

品	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	一三、七〇	—	一車
吉豆	—	—	—
小豆	一五、一〇	—	二車
玉蜀黍	—	—	—

定期（混合百斤値段）

品	寄	引	出來高
先物	—	—	—
大豆	—	—	—
一月限	六、三七	六、四九	三三七車
二月限	六、四六	六、五七	二八車
高粱	—	—	—
一月限	三、八四	—	一車
二月限	三、九一	四、九五	八車

鮮魚小賣相場（十九日）

百匁に付

品名	最高	最低
小鯛	一四五	一二〇
連子鯛	八四	五〇
チヌ鯛	七二	五二
アマ鯛	…	…
イセエビ	四八	三五
車エビ	四八	四六
ブリ	…	…
ヒラス	一三二	二四
マナ	三六	四二
鮭	五四	…
スズキ	…	…
サハラ	三〇	二八
ニベ	…	…
アパ	…	…
メバル	二一	一九
ヒラメ	二二	二一
コチ	二五	二三
コノシロ	五〇	二五
ホーボー	…	…
キス	…	…
タコ	五二	三四
水蛸	二一	一七
飯蛸	…	…
カニ	一六	一三
アナゴ	一八	二四
アワビ	五二	八
シジミ	…	…
甲イカ	四二	二四

掃匪最前線 秘境撫松を征く（四）

澁谷生

匪境北崗へ

嚴寒

しは身にしみる朝、記者は靖安支隊附武内中校の指揮する部隊に投じ縣城東北方約卅五キロの地點にある匪境北崗に向つて出發した、北崗は東崗、西崗、南崗と並び稱される撫松の大高原、大密林地帶、匪賊の出沒は日夜頻々たるものがあるといはれる、この大密林の中央にはバラック建の急造兵營があつて約一週間前から靖安支隊奥田營長の率ゐる約三ケ連が駐屯し匪團の重圍の中にあつて戰鬪を續けてゐる

記者の參加した武内〇隊の任務は急據支隊本部を出發、北崗にある奥田〇隊に合流し翌朝曉闇を衝いて吳義成匪掃蕩に進發するにある

最近

討伐指導部に達した匪情によれば該匪團は東崗東南方約十キロの地點に蠢動を續ける模樣で奥田〇隊は翌早朝北崗を出發途中小匪團を掃つて東進し北方吉林省から南下、すでに東部安圖縣境に近い馬鞍山附近に到着、待機せる第二軍管區某部隊と東西相策應し吳義成を挾擊、一擧に其本據を掃蕩す可との命が下つたのである

午前八時半われわれの部隊は食糧、彈藥、無電機、馬糧などと一緒に二臺のトラックに滿載され、赤澤團長、西澤營長等の盛んな激勵の言葉を浴びて午前十時本部を出發した縣城を出ると忽ち山路にさしかゝる、數日前に降つた雪がまだすつかり凍つてゐないため少し急峻なところではトラックは直ぐにエンコだ、警備道路があるわけではない、難航は素より覺悟の前だ、バラバラと兵士達が飛降りてトラックを引揚げる四五名が銃をもつてそれぞれ見透しのきく高地に上つて歩哨に立つ

を越すと一齊に飛乘つて前進だ、

難所

張切つた迅速機敏な行動を見てゐると皇軍の信頼すべき友軍だといふ感を更に深くする武内中校と記者を乘せた自動車は先頭を切つて走る、東邊道いたる處に見られる樣に撫松にも石炭層の露出した山があつて土民が三々五々拾つて歩いてゐる、地勢が高峻となり山が深くなつて來た身近に迫る山のすぐ背後に匪賊が窺がつてゐるとも限らない見透しは全然利かない、由來匪賊は決して人の通る道を歩かないといふ、嶺線から嶺線を傳つて赴り山上から足下を通過する軍隊を見過してニヤリとするといふから始末が惡い、匪賊討伐はだから平地に散兵線を布いて戰ふといふ樣な生やさしいものではない

丁度

熊を射とめるやうに彼等の足跡を何處までも追跡してありかをつきとめる、足跡は大低山寨に通じてをり、その附近には歩哨が見張つてゐて急を報ずる、山寨襲擊はこうして始まる、しかし此の場合巧みに匪團の術策に陷ることも多い、何時の間にか匪團の重圍に陷つてゐたり逃げる敵を追ふうちに所謂ヲワ戰法にかゝり包圍攻擊を受ける、匪賊も馬鹿にしかゝるとだからとんでもない苦盃をなめさせられる、文明開化の科學戰には強くても原始的なゲリラ戰には思はぬ失敗を招きやすいこの邊りの雪は殆んど胸に屆くかと思ふ程に深い、遭遇戰で銃火を浴せ一氣に大打擊を與へても追擊戰で文字通り殲滅することは殆んど不可能に近い、密林の中になると更にひどく腐朽した樹木が横にぶつ倒れてゐてその上を雪が蔽つてゐる、旺盛な戰鬪力はあつても追擊する足もとが危い、軍馬は往々その中に踏込んで無慘にも足を折るといふ

この

雪を征服して匪團を潰滅させる方法はスキー戰法だ、シベリヤ雪原で皇軍を惱ませたパルチザンの手だ、近い中にスキーが撫松に持込まれると聞くが雪中の討伐に大いに寄與することゝ思ふ、隘路をわけ幾度か峠を越したが雪は次第に深くトラックの進行は殆ど絶望となつた、シヤベルで路上の雪をかきながら進んで行くが遲々として捗らない縣城から僅か二邦里足らずの地點に達する迄にすでに五時間を經過してしまつた、時刻は午後三時を過ぎてゐる、このまゝで行けば明朝までに目的地に到達するかどうかも危い

われ

われの部隊は遂にトラックを棄て徒歩で行進することになつた命令が下ると傳令が飛ぶ、たちまち人夫が召集される、トラックに積まれた荷物はどんどん降される、傳書鳩に託する本部宛の通信は武内中校の口授するまゝに次のやうに誌された

積雪豫想外に深くトラックの運行困難を極め、本隊は午後三時に至るも未だ腰營にすら到着せず、やむなくトラックを棄ていまより徒歩前進せんとす、馱馬六頭乘馬三頭を至急補給せられたし、腰營は前方千米の彼方に見ゆ

赤澤支隊長　殿

口授

する武内隊長の口髭に眞ッ白に霜が置かれてゐる、峠の頂上だけに風もかなり強い、北崗の討伐軍を犒ふべく托された數本の淸酒は記者の足下でみるみるうちにしらじらに凍りはじめた

北へ！北へ！南滿から移民

例年と反對北行列車滿員

新正月から舊正月にかけて北滿奥地から出稼ぎ滿洲人、山東人が

一年

の稼ぎを懷にして南へ歸つて正月するのが恒例となつてゐるのに、本年度は正反對に舊正月を目捷に控へて安奉線下馬塘、草河口、本溪湖、劉家河各部落から北滿の密山、南牡丹江、黒台、林口方面へ大量移民する滿洲人が日に〱増加し十九日朝の如きは八時十分着列車で下馬塘ハルビン經由密山へ二十名、草河口發ハルビン經由南牡丹江へ九十七名、下馬塘發ハルビン經由黒台へ卅五名の家族連れ移民が新京に到着同九時廿分發ハルビンゆき列車でそれ〴〵目的地に向つて出發した、この珍現象は北滿の治安維持なつて

何等

心配なく安住出來る北滿を慕ふてどし〳〵移民するものとみられてゐる

天野滿鐵上海事務所員 九大で講義

【大連國通】滿鐵上海事務所調査課產業係主任天野元之助氏は今回九州帝大より囑託されて三月まで法文學部において支那農業經濟に關する講義を行ふことゝなり、上海より直接福岡に向つた、滿鐵社員が内地大學で講義するのは始めてゞあるが、天野氏は大正十五年京都帝大經濟學部を卒業して滿鐵に入社、經濟調査會產業部を經て昨年十一月上海事務所に轉勤となつた篤學の士である

……懇親宴を催した、因に十二年度豫算は前年度と大差なく約二萬圓である

富田興銀總裁 滿鐵訪問

【大連國通】富田興銀總裁一行は十八日午後二時四十分滿鐵を訪問、新任挨拶をなしたが、同午後六時半から大連ヤマトホテルで旅大官民有力者二百余名を招待、同行創立披露宴を催した

范家屯區 公費豫算査定

范家屯區昭和十二年度公費豫算査定會議は十八日午後二時から滿鐵新京事務局會議室にて開催された、出席者事務局鯉沼參事、岸水地方係長、岡田范家屯派出所主任各地方委員等にて會議に先だち前議長區外轉任に伴ふ議長の選擧を行ひ滿場一致西村氏に決定直ちに豫算審議に移り一瀉千里原案通り可決し午後六時から

陸軍部外「功勞者に對し」

龍井の頒賜物件授與式

【龍井國通】昭和十年事變以來同九年に至る陸軍部外者ならびに團體の功勞者に對する頒賜物件授與式は豫定の如く十五日午前十一時より總領事官邸において川村總領事、小坂部生田副領事、龍井憲兵分遣隊長、龍井街長等出席の下に擧行正午嚴粛裡に閉式した、授賞者ならびに團體左の如し

外務大臣銀盃（以下八名）龍井内地人居留民會、龍井半島人民會、大田聡自衞團以下十團體 陸軍大臣賞狀（各通）

大拉子　吳　初　翰　　敍瑞八等（各通）故中　龍　井　本多　行家

昨年中朝鮮の石炭需給狀況

【京城支局】總督府鑛山課調査による昨十一年中鮮內石炭消費量は三百十五萬キロトンで一昨十年中の消費量二百七十一萬キロトンに比較すると四十四萬キロトンの增加を示しその內鮮炭は二百十一萬キロトンであつて十年の產炭高に比して之また二十一萬キロトンの增加を見せ半島における炭山の活躍及各種重工業の發展振りを如實に物語つて居り十一年中に於ける石炭需給狀況を十年中に比較すると左の通り

炭別	十一年	十年
產炭高	二二一萬キロトン	二〇〇萬キロトン
有煙炭	一一二萬キロトン	九二萬キロトン
無煙炭	一〇九	一〇八
輸入炭	六六	六一
移入炭	九四	七四
供給合計	三八〇	三三五
輸出炭	四	二
移出炭	六二	六一

即ち差引消費は十一年が三百十五萬キロトン十年が二百七十一萬キロトンとなつてゐる

哈鐵福祉課で 沿線運動施設に努力

【哈爾濱國通】哈鐵福祉課では沿線從事員ならびに家族の保健向上のため各種スポーツ施設の完備につとめてゐるが現在哈鐵管下沿線地方には既設野球場九、庭球場二十二、籠球場十六個所あるが本年度においては工費約十萬圓を見積り沿線主要地に野球場六個所、庭球場四個所を增設する計畫で解氷期を待つて着工することゝなつた

果然、哈市製粉業に黄金時代再來

昨年の年產高一千萬袋

屢報のごとく哈市製粉業は昨年このかた環境に惠まれて第二期黄金時代を現出するに至り、一方においては休止工場が續々復活操業を開始するとゝもに他方においては日本資本の進出による再編成にの拍車が加へられて、面目を一新してきたが、この結果は必然的に麥粉生產の大增產を招來し、北滿經濟その他の調査によれば昨一ケ年間における市內全工場の麥粉生產高は次表のごとく總計約一千一百萬袋の巨量に達しており、これを一昨年中の約五百八十七萬袋に對比すれば約五百八萬袋、八七%一昨々年の約四百八十一萬袋に對比すれば約六百十四萬袋一二八%の激增ぶりで哈市製粉業の黄金時代を如實に反映してゐる點注目に價する、その月別推移を前年度と對比しつゝ示せば次の通り（單位＝袋）

月次	一九三六年	一九三五年
一月	七八一、二四三	三七〇、七四六
二月	七五七、九一五	二二七、六〇七
三月	七九四、八一三	四五〇、五二六
四月	八八七、五六四	二六八、五〇三
五月	九四三、九一六	二六八、一三六
六月	八五三、七三七	三二〇、六〇八
七月	七一四、〇六一	三一三、七七六
八月	八一五、八一五	六三〇、五八七
九月	一、〇九〇、七〇七	七二一、一〇九
一〇月	九四〇、九〇七	七六二、八四一
一一月	九八〇、七八一	七八四、二三二
一二月	一、四二九、九〇七	七八四、二三二
計	一〇、九四五、〇〇七	五、八七四、三九〇

すなはち昨年度の平均月產高は約九十萬二千八十袋にして平均操業工場十一とみて一工場當り平均年產量は約九十九萬五千袋を示し、原料小麥の總消費量は步留り七五%とみて約三十二萬袋と推定されるその月別推移をみるに新穀は昨年より一段の生產活況を加へたることは九月中の生產高が八月よりも一氣に約二十萬袋餘を增して約四百四萬袋を示してゐるところよりみて一目瞭然であり、特に十二月中の生產高が前月より一躍約百四十三萬袋を加へてゐる點は哈市製粉月產高が大體百五十萬袋標準時代に入りたるものとして最も注目に價する

朝鮮水產會令 改正建議

【京城支局】朝鮮水產會では來る二十二、三兩日開催する總會の決議を經て水產會令の改正を總督府當局に建議することになつたが、右は現在の同令は會員を個人單位として居る爲め理想としてはよいが會員數の多いため會費の徵收關係その他會自體と會員との連絡上に種々の不便と圓滑を缺くので偏重主義を避け漁產組合等凡ゆる水產機關を水產會の下に收め專ら鮮內水產界の改善發展を期せんとするにある

東北國境地帶旅行日誌（一）

在新京　峰下一郎

勃利

林務署で林口、密山を經てソ、滿國境ウスリー河沿岸虎林饒河及び松花江側同江、富錦、寶淸の各縣下に於ける林業並に一般產業方面の調査旅行の企てありたるを以て自分は一時囑託として此行に加はることを許され十二月四日多數見送りを受け勃利驛を賑々しく出發したのであるが、最終の目的地たる寶淸縣に入り更に引返して富錦に夫より佳木斯に出で漸く工事完成したばかりの圖佳線の北端佳木斯、勃利間一二六キロ間を建築列車に便乘して勃利に歸る此間約一千四百キロ八縣下に亘り約一ケ月間の耐寒、冒險旅行を試みたのである

左に

述べる所は專門的の事項や數字的羅列を避け通俗的に該地方の事情を紹介せんとするものである

圖佳線現狀

我等は林密線に乘換ふる前に圖佳線の現狀を述べて置く必要があると思ふ、此線は大滿洲國の中心を縱に貫く所の大連、大黒河間の大幹線に對する

橫の

大幹線をなすものであつて圖們、佳木斯間約五百七十二キロ、事變の翌年圖們より工を起し百草溝、寧安、東京城等を經て一昨年牡丹江迄完成更に昨年林密線の分岐點林口を經て本年二月勃利迄の假營業を開始し一氣に工を進めて本年（昭和十一年）十二月一日佳木斯迄の大工事を完成せしめたのであるが此間幾多の犧牲者を出し或時には草根木皮に餓を凌いで此の難工事を完成したる軍部及び滿鐵の努力に對しては涙なくしては聞かれない話ばかりである、此線の使命としては軍事上欠ぐ可らざる重要性を帶びておる事は勿論經濟線として滿洲國內一萬キロの沿線中有數の地位にあるものである

即ち

沿線各地に於ける林業、農業、鑛業方面に豐富なる物產を有するは勿論從來ハルビンを中心として行はれた松花江沿岸貿易の半數は此の佳木斯に吸集せられ佳木斯と北鮮雄基、羅津淸津間とを結ぶ輸出入貿易は將來素晴らしいものであろうと思はれる更に松花江を挾んで佳木斯の對岸にある彼の有名なる大炭田鶴立崗を經て濱黒線に繫ぐ第二次鐵道建設が完成せられたる曉は愈よ其眞價が發揮せらるゝことであらう

渡武官迎へ 滿鐵產業部座談會

【大連國通】滿鐵產業部では漢口駐在陸軍武官渡中佐の來連を機に、十八日午後二時半から同中佐々中心に座談會を開き、長江筋の政治經濟事情につき意見の交換を行つた

家庭

流行期の呼吸器病　吸入器の使ひ方

回數が多いと患者が疲れる

近頃使はれる蒸氣吸入をかける病氣はどんな種類のものかといふに眼科でも喉にかけることがあるが一般呼吸器に關するものである即ち氣管支カタル、肺炎が一番多く、その他特別のものとしてヂフテリア、肺膿瘍、肺壞疽等である。

◇何◇れの病氣にも相當の効果を擧げてゐるが、その際吸入藥としてはどんなものを用ひるかといふに、氣管支カタルや、肺炎等には重曹を一パーセント乃至一・五パーセント（この重曹は痰を出すに便利にさせる）或は重曹の中に食鹽を一%―混ぜるのとがあるが、この場合、更に千倍のアドレナリンを二、三滴たらすと効果が一段とよい樣である。アドレナリンは劇藥であるから餘り多く入れるのはいけない一日に五回吸入をやるとして十五滴以上用ゐない方がよい

重曹を溶かす際、注意すべきは必ず水を用ゐなければいけない、お湯で溶かすと重曹がガスとなつて逃げてしまつて、吸入藥としての効が失せてしまふ。

◇又◇ヂフテリアには石灰水を用ゐたり肺壞疽、肺膿瘍などの時（主として病院でやるが）石炭酸、テレビン油等を入れるがそれはそれ等の病氣の際出る痰の消毒及び殺菌のためである。

次に吸入をかける回數はどの位がよいかといふに、病氣の種類に依つても違ふが、多くて一日に五回がよい。甚だしい人になると三十分置きに一日十何回とかける人があるがこれは却つて患者を疲らせ病氣を惡くする、殊に肺炎の患者で呼吸困難なのは、一日に二回が多くて三回。

それも場合によつてけ一尺か一尺五寸位離してやるべきだが、それも又甚だしく呼吸困難な患者には寧ろ吸入をかけず、濕濕布をやつた方がよい。

◇今◇度は吸入をさせる場所であるが病氣が咽頭氣管支、喉頭氣管支の時は口だけ若し鼻がつまつて、鼻カタルがある場合は鼻にもかけたがよい。

一回の吸入する分量は吸入藥を入れるコップの大小にもよるから、何杯といつても分らないであらうが先づ一回の百グラムを限度とすべきだ。

これも人によると早く治さうとして一回に澤山の量をやるのを見受けるがこれ又患者を疲らせる恐れがある。

◇吸◇入をする距離に呼吸困難な肺炎の患者は前に述べた通りであるが、さうでないのには大體五寸位、ごく接近して三寸位がよい、次に吸入器であるが、今は色々の器械が出來てゐるが、大きい目で見れば甲乙がない。たゞ取扱ふ人が注意すればよい。その注意のうち最も大切な事は使用した後、必ず重曹が入つた管その他を水か、お湯で洗ふこと、さうしないと重曹が空氣中の酸素を取り、炭酸ソーダにかはり管を塞いだりしてしまふからです。家庭常備品であるから、取扱ひを大切にしなければならない

美しいお化粧に　汚れた耳

これを幻滅と言はずして！

◇…お化粧をする時とか唇は誰も細心の注意を拂ひますが、耳とか、鼻の穴はつひおろそかになり勝ちのものです併しどんなに美しいお化粧がほどこされてゐても、フト貴女の横顏を見て耳の中に垢がたまつてゐたり、或は耳の裏がうすく汚れてゐては全く幻滅ものです。

◇…そこで貴方のお化粧をより完璧にするためには、鏡台の上にオキシフルか、又は純良なるアルコールを四五倍にうすめた小瓶かを一本用意なさい。そして耳かきかオレンヂステッキの先に綿を巻きつけ、例の液につけて、耳の中を掃除します。

◇…又耳たぼや耳の裏は指先に綿を巻きつけて、この液を浸してよくふき、最後に耳たぼにホンノリと紅をぼかしてつけて御らんなさい。横顏の美しさをどんなにか増す事でせう。

電波時代

（まるで）アラビアン・ナイトのなかの魔法の洋燈のやうに不可思議極まる力、名づけて電磁波と稱する恐るべき力が軈て世紀を支配することゝならう！一代の碩學者であつたマックス・ウエルがから看破して僅か半世紀の後、二十世紀の世界はワットの蒸氣の時代をそして石油の時代を遙かに超へて不可思議な電磁波の世界となつて了つたのである

まことに驚異すべきは見えざる電波の正體なのである、全世界は今やこの見えざる電波にから隅まで包みこまれ、一つは大きな人類の歴史から一つは人生の小さな日常生活の端まで直接、間接影響されるばかりか、想像だにし得なかつた境地に引ずりこまれて來てゐるのである

（東海道）五十三次を半年がゝりで旅した時代は僅か百年前の物語りだつた、燕が九時間でつゝ走つたのは數年前だし、旅客機が二時間でとび結んだのも、この四、五年前のことだつたがしかし一九三六年の夏には吾々は數千キロはなれた地球の片側、伯林オリンピックスタデアムから間髪を入れずあの「ニッポン頑張れ」の熱狂と昂奮の實況放送に手に汗を握るやうな時を迎へた、それぱかりか電波の力はその日のうちに、數時間に日章旗ひるがへる競技場の光景を、また胸そびやかすわれ等の選手の姿を大西洋と太平洋を越えて電送して來たのである、この電波は老いも若いも、階級を問はずあらゆる人種に對して限界を超へた興味を、また何かのヒントを與へつくしてゐるわけだ、數千萬の人々の耳と目をこの放送のあるところ電送寫眞にすべてを集中したことは立派な事實なのだ

（地中海）の一角に動亂が起つた、動亂のスペインへ、東洋の一角、東京から電話を掛けられる現實は五千年前サハラ砂漠の一角で星の神秘を探ぐらうとして眞理探究の一歩を印した人、その歴史を二十四時間の短かい時代に押しちゞめた程の價値をもつものと言つても過言ではあるまい、實に電波こそ昨日の不可能を今日の可能に變じつゝある魔法なのである一秒間に凡そ地球を七回半も驅けめぐる恐しいエネルギーの所有者、電波の諸相をこゝに顧みるのも無駄ではあるまい

（吾々人）類の日常生活にぴつたりと結びついて切つても切れない緣をつなぐ電波の關係者はラヂオだとか、俗に言へば電燈、電信、電話の類までも包含されるわけで、實質的に言へば枚擧に遑ない電波の恩惠を吾々は蒙つてゐるのである、その一例として昭和二年一月、倫敦、紐育間に業務を開始した無線電話は數年を出ぬ今日、回線すでに七十有餘におよび通話距離は四十餘萬キロ、全世界の電話加入者總數三千五百萬人中の九十五パーセントが自由自在に世界の片隅まで通話が出來るのである

（ラヂオ）の如きは世界の放送局數が千二百餘、聽取機數が四千五百萬なほ各國とも物凄い勢ひで增加の一途を辿つてゐる、同時に各國とも競つて政治的デモストレーションの立場から大電力放送機を莫大な資本を投下して建設しつゝある狀況で今度日本で出來た百五十キロ大電力放送機は夜は地球を一週、晝間は蘭領印度、支那、米國の桑港は勿論、ソヴイエトロシアのウラヂオ、ハバロフスク邊りまで充分にとゞかせやうと言ふのである、滿洲國においてしかり、ともにソヴイエト・ロシアにおいてしかり、アメリカにおいてしかり、空中ではこの見えざる電波が物凄い正面衝突を演じてゐるのである

（各國の）學者はあげて電波のもつ神秘の性能を究め、同時にこの性能の利用に奔命してゐるが、その血と汗の研究の成果は樣々の形となつて吾々の前に提出されつゝあるのである、その一つには例のテレヴイジョンがある、ラヂオの音に次いで現實を送らうとする人類の慾望は、まづ英國のベアードのテレヴイジョンによつて可能を暗示し、今では英、米、獨で將に實現の緒につかうとしてゐるが、日本でも東京電氣式、高柳式、放送局式の三者が一體となつて四年後の東京オリンピック大會には堂々會場の實況を聲と音と現實をのせて世界にプレゼントしやうとまで意氣こんでゐる、その他驚異すべきは高周波電波による物質の轉換の研究である物質の原子を轉換することがつまり銅を金に、錫を鐵にすることが出來ることは理論的に究明されてゐるのであるが如何なる力によつてなし得られるかは問題だつた

（ところ）がその力こそは電波によつてのみ得られることがあらゆる實驗で證明づけられ、今日各國とも特殊電波の發生を極秘裡に研究しつゝあるのだが、日本でもさうした研究の一部として菊池秀之工學士が一人類の歴史を百年も進歩せしめた」と稱する高周波熔鑛爐を完成し世界の注目を惹いた不治の病である癌の治療には唯一のラヂウム礦石から放射されるガンマー糸があるばかりだと醫學上考へられてゐたが、驚くなかれ稀有の礦石ラヂウムに代つてX光線のなかにも癌も治すに充分なガンマー線が放射されることが發見されすでに高價なラヂウムに代つて廉價なX光線が人類の敵である癌を退治しつゝあるのだ醫者のみが人生の不幸である病を治すものだと言ふ考へは全くこの二、三年來古いものになつて了つた、今日新醫療機械として短波長、超短波長の醫療器なるものが現れて電波の醫學の領域に次第に侵入しつゝあるのである

（つまり）周波數の短かい電波の波は物體を透過する強いエネルギーがあり、そのエネルギーが物體と衝突するときに或種の熱を起し、弱い組織を破壞することがこの醫療機の原理となつてゐるわけだが、實際に既に臨床學的に樣々の實驗が繰返されて治療效果も可成りの成績をあげてゐる、恐らく近い將來、何病には何米の波長の電波を照射すればよいかと言ふ細かいデーターに基いて各家庭に一つゞつ位は備へつけられる時代が來ることは間違ひなからうが、さうした時代になつたら可哀想に醫者はどうなることとか、無線電信機も最近では人の言葉が光となり電波となり、さらにタイプライターを自動的に動かして文字に記錄することも出來る程になつた、全世界の特殊な技術者オペレーターもさうなれば不用なのだ

（極超短）波、赤外線、極秘通信、ガンマー線などは高周波、或は低周波の樣々の研究が人類の生活に將來驚異の貢獻を與へるであらうしまた文明の躍進を促すであらう、一方同時に夢想だにし得なかつた慘虐な破壞性の巨大な力をも培つてゐるであらうことは否めぬ事實である軍事關係への新武裝の一要素に電波は續くことの出來ぬものなのである

それは單に通信要具として「敵艦見ゆ！」の程度に利用されてゐるだけならば問題はないが佛蘭西では數萬キロをとぶ音のなき電氣砲の設計に成功したと傳へられるし、亞米利加では殺人光線の實現に到達したといはれ、英國獨逸では無電操縱の飛行機、タンク或は鋼鐵や、火藥や人間などもどろどろにとろかす怪力線と稱する特殊電波の發生を考案中だとか、凡そ

（平和な）人類生活を脅威する殺人用具に關する樣々の噂が傳へられてゐる、實際、これ等は傳へられる噂でなくて現實なので、例へば近代戰における花形、航空機の無電操縱の如きは、各國とも立派に成功して居り一朝開戰の場合は任意の地點から多量の爆藥を搭載した人の乘らぬ軍爆が發射される電波の命令に從つて群をなして飛來するであらうし、人の居ない軍タンクが戰線をかけめぐつて機關銃を亂射しながら突進するであらうし潛水艦が海底を思ふ存分這ひ廻つて邪魔物は片つぱしから爆沈することは覺悟しなければならない、殺人光線、怪力線の如きものが實用化される曉、地上における文明の根底となる石油とか石炭とかいふ物質の價値は零となり電波の絶對的支配の時代となるであらう、人類の歴史は全く更新されるであらうことが考へられる、それも餘り遠い將來ではない

今日の話題

△正月の最終行事たる「廿日正月」は今日。
△今日から大寒に入る。
△宇治川の先陣爭ひ。（壽永三年）
△木曾義仲粟津に討死（同）
△小田原城内の評定で北條一族籠城ときまる。（天正十八年）。
△和氣廣虫逝く。（延暦十八年）

お料理獻立

たこのもみぢ和ときんとん

【材料】（一人前）
たこ　四〇瓦（約一〇・七匁）
大根　四〇瓦（約一〇・七匁）
人參　二〇瓦（約五・三匁）
鹽元きんとん　一四〇瓦（約三七・二匁）

以上にて蛋白質一二・九瓦カロリー一九五となり、無機質、ビタミンも完全であります。

たこはそぎ切とし、酢をかけ、大根、人參を卸してまぜ砂糖、酢で味をつけ、きんとんを添へます。

いかのつけ燒とサラダ

【材料】（一人前）
いか　六〇瓦（一六・〇匁）
うど　三〇瓦（八・〇匁）
りんご　三〇瓦（八・〇匁）
馬鈴薯　三〇瓦（八・〇匁）
人參　一〇瓦（約二・七匁）
グリンピース　五瓦（約一・三匁）
油　一〇瓦（約二・七匁）
玉子　一〇瓦（約二・七匁）
玉葱　一〇瓦（約二・七匁）

以上にて蛋白質一二・五瓦カロリー二〇九となり無機質ビタミンも完全であります

いかは開いて串を打ち燒きタレをつけて照を出し、うどのそぎ切、りんご薄切、玉葱みぢん切、馬鈴薯、人參蒸して切り、マヨネーズソースで和え、青豆をあしらいます。

ラヂオ　けふの番組

（M・T・C・Y）新京放送局　二十日（水曜日）

◇朝◇

七・五〇　ラヂオ體操（東京）
八・二〇　氣象通報　入港船のお知らせ（大連）
八・一五　初等滿洲語講座（大連）　講師　秋父固太郎
八・四〇　朝の音樂（大連）
九・三〇　經濟市況（東京）
九・四五　建國體操
一〇・四〇　經濟市況（大連・新京）
一一・〇〇　家庭講座　室内の鉢植の取扱方　新京西公園々藝主任　根守壤
一一・二〇　料理獻立（哈爾濱）
一一・三〇　家庭メモ

◇晝◇

一一・三五　經濟市況（大連）
一一・四〇　經濟市況（東京）
一一・五九　時報（東京）
〇・〇五　晝の演藝　ハワイ音樂　トロピカルアイレンダース
ハワイアンギター　エンデー森脇
ウクレレ　アンドイ・アルハムブラ
ギター
ピアノ　佐々木久夫
一、ドリン・パクレイ
二、マボロシ
三、アラビアの唄
ハワイの戀の唄
四、リバー・ステー・ウエイ
五、マイ・ドーア
六、ハオレ・フラ
七、シイグマ・カイの戀人
八、フーズ・ソリー・ナラ？
九、サンライズ
ブルー・オブ・ザ・ナイト
〇・四〇　ニュース（東京・新京）
一・〇〇　經濟市況（大連・新京）
三・〇〇　經濟市況（大連・新京）
三・三〇―六・〇〇　春場所大相撲實況「六日目」（東京）―兩國國技館より中繼―
三・五〇　經濟市況（東京）
四・〇〇　ニュース（東京・新京）
四・三〇　經濟市況（大連・新京）
六・〇〇　子供の時間（東京）　近世日本の英傑　伊能忠敬（二）

◇夜◇

六・二〇　コドモの新聞（大連）　御色並演出　東京放送童話研究會
六・二五　新京商業アイスホッケー選手優勝實感談
一、アイスホッケー選手歡迎の歌　新京商業學校生徒　新京商業ブラスバンド
二、挨拶　アイスホッケー選手二名
三、優勝戰感想　教諭　中島桂助
六・五五　カレントトピックス（東京）
七・〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七・三〇　生活改善講座（東京）　暦に關する迷信に就て　理學博士　石原純
八・〇〇　義太夫（大阪）　義士銘々傳　赤垣源藏出立の段
八・三〇　女聲合唱（東京）
八・五〇　浪花節（名古屋）　山科妻子別れ　吉田奈良千代　曲師　吉田奈良英
九・三〇　時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇・〇〇　新日本音樂　尺八　大橋雅博　箏　大橋由子　唄とパイプシロホン　大橋左知子
一、春節調　大橋雅博作曲
二、追分の調　大橋雅博作曲
三、潮音　宮城道雄作曲
四、世の想ひ　大橋雅博作曲
五、新京だより　大橋雅博作曲
一〇・三〇　北滿の時間（哈爾濱）

義太夫　「義士銘々傳」赤垣源藏出立の段

（後八・〇〇　大阪より）　淨るり　竹本東廣　三味線　豐澤仙平

この淨瑠璃は慶應年間に倉田千兩が書下したと傳へられてゐます。赤穗浪士の一人赤垣源藏がいよいよ明日吉良邸へ討入といふ宵に兄鹽山伊左衛門の許へ今生の暇乞に行くと若徒曾平太から大酒の意見をされ御舍兄御立腹今逢へば直樣お手討ちといはれるが頓着せず奥へ通つて嫂お縫から小袖を借りて病母眞弓を見舞ひ二度の主取り近日出立の暇を乞ふ、驚いた眞弓の意見をよそに徳利の酒飲干してその場に高鼾、折柄一間に聲あつて伊左衛門が繰出す成敗の槍をかはして徳利で押へ卷落して立上る時母が手討ちと眞弓が源藏へ寄ると見せて我咽に突立て源藏の心を見拔き手柄させやうために自害をします。源藏始めて母兄に實を明かすのを聞いた若徒曾平太實は吉良の家臣尾林平太が注進に驅出さうとするのを槍で一突門出の血祭りにあげ、悦んで入る母を唐土の王陵が母にも勝る御惠と伏拜み雪を蹴立て馳せ行きます。

浪花節　山科妻子別れ

（後八・五〇　名古屋）　吉田奈良千代

奈良千代さんは本名和田以衣子滋賀縣出身、三十二才。九才の時より吉田元女師につき學ぶ。昭和四年渡米せしことあり。【寫眞は吉田奈良千代】

「今日は都の島原や、明日は伏見の墨染と、通ひつめたる身の惰弱都童子の口さがな、」犬武士よ腰拔よと、笑へば笑へ人の口、軈て間者を欺きて追返したる其後は、仇とめざす上野の、白髮頭を手にとれば、之にまされる愉快なし。

山科に閑居した大石内藏之助は日ごと夜ごとの廓通ひ、愈々かるも太夫を身うけすることになる。或日奥方に向ひ「三人の子供までなしたそなたを今更離緣するわけには行かぬ、その代り下女代りに使つてやる」とのことに奥方は「つれて歸る事だけは妾は兎に角母や子供に免じおゆるし下されい」と諫めれば「夫の言葉にそむくやうな者は大石家風に合はぬ、吉千代大三郎をつれて但馬へ立歸れ」と拙ひも寄らぬ大石の言葉、次の間から現はれたは大石の爲には義理の母「たつた一言でよい仇討すると言葉のなそにでもきかして呉れ」と詰めよられた大石、何の身もよもあらうたつた一言明かさうか、いやまてしばし我心、ここで大事をうちあけて若しやぶれの種となれば拙者一人が同志の者が苦心も水の泡、こゝが我まんのしどころと、涙をのんで母や妻子を但馬へ歸すといふ大石妻子別れの一席。

女聲合唱

（後八・三〇　東京）

ルナ・コーラ　プロアルデ
絃樂伴奏　樂團絃樂部員
ピアノ伴奏　會澤幸子
指揮　古田德郎

ムソルグスキーのアルバムより

イ、ねんねんおいらが兒よ　古田德郎編曲

オストロフスキーの作詞で百姓が其子に唄つた子守唄である（ドイツ語合唱）

（歌詞意譯）

ねんねんよおころりよ坊やはよい子だねんねしな、ねんねんよおいらの坊やよ坊やはよい子だねんねした、おいらの爺樣たちはこんな辛苦を知りませうか、パンがなければおいらは餓死するのだ

ねんねんよおころりよ坊やはよい子だねんねしな、ねんねんよおいらの坊やよ、ねんねんよおころりよおいらはどんなに辛くても働くなくてもいつも收穫をまつてゐる、畑なんか鋤かなくても

畑なんか見なくてもさ若い女の子が何もかも面倒をみてくれる

槽の中で裸の子供達の爲にたつた一つのシャツを洗つてくれる

そこで一人前の紳士よりも立派にめかしこむのさお祭りの日には內皮靴をもつてくれれば

それでよいのさ

そうとも幸せの子供よカリストラート

私の息子よ

お前のすべての生涯は眞實にお祭りだ（寫眞は山本春雄）

獨唱　山本春雄

ハ、カリストラート（バリトン獨唱付）

ネクラソフの作詞でカリストラートは子供の名である。

（歌詞意譯）

ゆりかごのそばで母が俺の爲、唄つてくれた子守唄はこんな唄だつた

幸せの子供よカリストラート私の息子よお前のすべての生涯はお祭りの日の樣である樣に

神樣は俺の母の豫言を滿たせよと命じ給ふと

神樣は俺の母の豫言を滿たせよと惠み給た

村中で誰がより豐かで美しく幸福だと云はれよう

ああ誰か村中でより幸福だと云はれよう

朝まだき俺は先づ冷い小川で身體を洗ふ

髮櫛けする俺は地面を鋤か

谷間に、丘に、葉いちごの實が

雨と光にそだちます

おうちには

可愛い坊やを

父さんも母さんもはぐみます

畑で骨が折れるか日はやけつくか、お慈悲もなく腹をへらして、坊やよお前はそんなに靜かに搖かごの中にやすんでゐるの、坊やの魂は大國に空高くとんでゐる靜かな夢は神樣がお守りなさる、天使樣が搖かごのわきに立つて居られる

ロ、子供の歌

（歌詞意譯）

出生

▲本籍愛媛縣新京興安通十二濱田定一氏二男明さん一月五日出生
▲本籍愛媛縣現住所新京櫻木町五丁目八今城萬一郎氏次男克東さん七日出生

死亡

▲本籍福島縣新京羽衣町四ノ二二空閑克己氏十四日死亡

學藝

短篇小說二等（賞金拾圓）

芝居正月（二）

松村冬木

一、舞台の通夜（續）

小雪の晴れ上つた中を、劇場に歸つて見れば劉が只一人寒さうに默然とかゞみ込んで居ます。

『劉、御苦勞さん、濟まんが大急ぎで、お棺を誂へて來て呉れ。それから座長の女房の宿へ寄つて、着換を持つて來るように念を押して置いて呉れ。…つまらぬ事を考へるな！自然に何も彼も直ぐ解るのだから、餘計な心配をせずとお弔ひを立派にしてやろうぜ』

其處へ眞先に馳付けたのは顏見知りの巡官です。

『報告がなかつたものだから遲くなつて濟まなかつた。君からの使ひで初めて知つたのだよ。宴會に招ばれて居てね。大變なことになつたね』

と年に二度目の正月酒に顏を眞赤に染め、はき散らす支那酒くさい息吹は血と埃の臭氣の中に一と際鼻につきます。

『折角のお正月早々に濟みません。座長が殺されたのでは私の方は正月どころではありませんよ。今の處原因や犯人の心當は皆目私には見當が着きません。どうぞ役所の方で充分を調べ下さるようお願ひ致します』

『そりや、勿論充分調査するが、領警や憲兵隊とも打合をやつた上で嚴重にやることにする。が何にしても厄介な事が起きたものだなあ、あゝ憲兵隊の班長さんと領警の主任さんが見へられた。早く檢屍を形付けて犯人搜査の準備をしなけりやならん』

お正月はのんびりと朗かなものです。三人の係官は夫々叮嚀に座長の彈痕を調べ終りましたが皆一樣に（よく射つたものだ。大した腕前だ）と射擊會の射手のやうに犯人の腕の確實さを讃めたぎりです。

突然劇場一杯に

わあつ……

と喚き乍ら馳け込んだ者があります。劉に附添はれた傳座長の若い副妻姜王氏です。

『劉よ、お調べが濟む迄女房に靜かにして居てもらつて呉れ。無理もないがもう直ぐ濟むのだから……』

が一應の取調も檢屍も濟んだ三人は（之からどうしよう）とお互に顏を見合せて居た時ですから丁度よいきつかけが出來たとばかり巡官は

『團長、之以上死體をいぢつても仕樣がない、早く納棺して葬式だ。正月中だから早くやつてしまふ方がいゝだらうー ぢや、班長さん。主任さん御苦勞でした。歸るとしませうか？』

と巡官は赤い顏を振り〱座席の間を泳ぐ手つきで漕いで行きます。

『皆樣ほんとに御苦勞でした。二、三日中に葬式は出しますが、何分旅先の御難です故どうぞ格別の御力添をお願ひ致します。座長が何の爲めに殺されたのか狹い此の町のことですし、直に解ると思はれますので一時も早く犯人なり原因なりを突止めて下さい。何れ改めて參上致します。有難うございました』

と三人を表口に送出して舞台に引返しますと直に納棺です。泣き叫ぶ女房の狂態には手も附けられません。

『おい〱。皆何をぼんやりして居るのだ。後かたづけだ。表の醫者を呼んで來て傷口を巻いてもらふのだ。出來たらお棺に納めて今夜は此處でお通夜だ。早く仕度をせいよ』

夕暮の近づく劇場は、一度にどつと眞暗くなる樣な氣がします。舞台には樂屋口から指し込む夕燒の色が僅に人々の動きを照してゐる許りです。

傳座長—天津西市場の隱れた名優傳鳳芳は、三十八歲を一期に正月の舞台。而も彼が得意の關羽戰勝賦を高らかに唱ひ續けて、銅鑼や笛の音に送られ、北滿の片田舍から一足飛びに昇天して行つたのです。

滿洲建國後二度目の正月を錦州城內に迎へ御難に喘ぐ傳一座の團長に祭上げられて丸々一年間、錦州を振出しに朝陽、凌源、赤峰、林西と奧へ〱熱河を縱斷し、林西から横に折れて興安省を横斷し、鄭家屯に辿り着いて漸々人心地を取戾したのですが、御難は相變らず續きつぱなしでとう〱雙六の賽の目は上りに近づいてゐたのです。

町らしい町へ出れば、一座の者の遊びが激しくて、多少の收入も貯へとはならず皆の前借に成つてしまい財布の底は何時も空つぽになるばかりです。田舍に這入つて、少し位危い不自由な目を見ても稼ぎになればと思ひ日本軍や滿洲軍の駐屯地には殆んど餘す處なく渡り歩いたのですがこれは又慰問興行と銘打つて二、三日を軍隊に開放した後はお客の入場は一向にないのです、まだ〱芝居を見る程落着いた空氣になつてゐないのでせうが、それにしても奧地では冷い眼でみられて、稼ぎどころか座員の氣分を益々荒立てゝ來る位が關の山だつたのです。

この暮に鄭家屯を打上げ、僅か乍ら始めて膨んだ財布を抱へて此の町に正月興行を開いたのです。開場早々全く豫想外の大入り續きで（この分なればチチハル迄には哈爾濱興行の資金が出來る。雪解け頃にはハルビンに乘込んで一旗擧げよう）と樂みにしてゐた矢先の事件です。原因不明の謎殺人です。傳座長の日常では他人から怨みをうける筈はないのですから……天津で惚拔いた揚句副妻とした今の王氏とは座員も羨む程仲良しだつたのです。又役者稼業には珍しく酒も飮まず。博奕も打たず、金の出入りは喧しすぎる程固い男だつたのです故殺された原因が判りません。

明朗ないゝ男を奪はれた淋しさよ！

板の間のしみ着く寒さに目を上げると、何時の間にか煤けたランプがぽつんと一つ灯されてゐます、暗い中から安線香の匂ひが漂ひ、その奧には朱塗の立派な寢棺が、はげちよろけた舞台の道具類とはまるで緣のない不似合な艶々しさを見せてゐます。座員は五、六人づつ〱石油罐の炭火に取附いて、相變らず無表情な顏を火照し時折鼻水を啜る音がちーんと響きます。副妻王氏の狂ひ泣く聲が管樂の何かの音によく似て、聞き慣れない者の耳には、滑稽な感じが湧いて來ません。樂屋口から洩れて來る隙間風は、春節の夜の凍り切つたとげ〱しさを容赦もなく蹴散らし、正月の精魂を何處かへ置忘れて來たような銅鑼の音が遠く近く漂つて來るのでありました。

病後雜詠

安藤岩喜

轉地療養人ごとの如く思ひしに療養所に起き臥す吾を悲しむ

旅に出てふるさとの空はなつかしき啄木の心かくもありしか

石割れば赤き血潮の滲じむてふ旅順の街に吾來つるかな

久々に海邊に來りありがたし水平線に陽ののぼる見ゆ

風もなく岸邊によする小波の淋しき音よ泪にじみ來

雜草俳句會詠草

—第四十三回（新年句會）—

○　紅二

日本橋も銀座もありて松飾り

武者凧の肩振りながら上りけり

初夢や晴着脫ぎおく枕許

初夢をきそひて寐たり姉妹

○　もみぢ

門松と並んでうつす寫眞かな

醉ひどれの轉がり込むや門の松

夕空に動かぬ凧の一つかな

○　安齡

住み馴れて異鄉ともなし松飾

日滿の旗の中なる松飾

○　晴二

門松にせいくらべする兒をとゝ

○　勝司

せがまれて繪每に買ふや凧の數

○　のぼる

門松や雀も一つ年を取り

○　げんげ

破れ凧抱へて坊のもどりけり

○　まり子

病める子に凧飾り置く枕元

○　野菊

初夢を見ずじまひにて明けにけり

○　風山

門松に積雪犇と凍てゐたり

○　早苗

數の子を咬みつ思ひを初夢に

○　靜盧

支那家屋並ぶ此處にも松飾

凧上げに書齋の父を引出しぬ

凧かゝへ斜に歩く風の子等

あげし凧下ろし兼ねつゝ黄昏るゝ

○　告天子

野良人に落凧揚げて貰ひけり

根引松土つけしまゝ飾りけり

鳶凧の尾は城內へ下りけり

新春隨筆

あなくろにずむ

檜山勝

南九州から大陸に移り住つて年を迎へること三度。よく洋行した人々の話に年も押し迫つて船が神戸を出る途中門司で差當りの買物などして、いよ〱玄海に入る、船で一夜して、トイレツトに這入つて見ると流しの水が赭らんで居るのでキャビンの窓からのぞくと、揚子江のあかい流水の至る位置に來て居るのである。上海、香港に這入る、こゝはもう日本に於ける三月のやうなほの暖かさを感じ、船はだん〱南下、一路シンガポールに向ふのであるが、その間、船員達はすつかり眞白の夏服に着替えてしまひ、船客達も扇を使ひながら屠蘇を祝ひ年始の詞を代すのださうであるが、その調子の狂つた迎年が妙に強い印象として殘るのださうである。

私は曾つて朝鮮に生れ滿洲で人と爲つた從姉と故鄕で同じ新年を迎へた事がある。故鄕では角松は五六年生の黑松をぶつた伐つて表戶の前の抗に結はへつけ、笹のついた眞竹を橫にわたしてアーチ形を作り、蕾のふくらみかけた梅をそへて松竹梅をあしらふのである。うらじろなどは裏山を探せば人丈を沒する位に繁茂して居る。それを小供等は鷲の飛翔のやうにふわり〱とかついで來る。ゆずりはは、さうざらにあるものではないだが之も小供等の世代々々に傳へ知つた山の位置があるので連れだつて勝手に折り取つて來る。

おとなしくのみ育立つた從姉は「こちらのお正月はぽか〱暖かくてちつともお正月のやうな氣がしない」とこぼして居たが、無論自分の今までに經驗した雰圍氣にそぐはない謂であらう。內地に於ける（比較的南の方の）正月の經驗として、舊に迎へる人は尙の事、正月のアトモスフエヤーとしては少し寒く雪でもちら〱見えると上々と云へるのである。

だから南國からこちらへ來ての正月は大して季節的な雰圍氣に於てそぐはない點はないのである、然し初めて移り住む時其冬の蕭條たる眺めには常綠樹の森がたまらなくなつかしい、それ故に春の待ち遠しいのが一入である。三月、四月ともなれば木の芽がそろそろに動きはじめる、その頃になると私は定まつて、あたゝかいものにほと〱と胸をたゝかれるおもひで、下駄履きのまゝデパートの階をこと〱と昇つて、室上から煤煙をかむつたにび色の樹々が芽を吹くのを見るのが最大のたのしみである。さうなるともう自然の生長のテンポが速くなる、ポプラ、てりはのどろのき等芽立ちの遲い木々も達者な、繪筆のやうな芽を伸ばす。かくして遠い樹々は次第に粉のやうな萠黃色に枝をかくしてゆく、そして櫻、連ゆすら、はては桐までがどや〱とあはたゞしく一時に咲いてしまひ、新芽の中に鯉のぼりが上る。內地では鯉幟は若葉の光にあふれる時であるのだが之等の事象もまだ大陸の氣候になじみきれぬものを妙な錯誤に陷れて季節的な意識の馬鹿にしてしまふ。やがて花々が散り、或は朽ちる頃になると、もう鋪道は强烈な照り返しが眼を射、アスファルトが踵にぶか〱と意氣地なくむれるのが直きである。北國の春は來たかと思ふともう夏に姿を變へて居る。こちらでは降霜が早いために稻なども極早いものが作られ九月初めからおそくも十月半迄には刈り取られる。たま〱こちらの稻刈りでも見て內地にあてて「稻刈りがそろ〱忙しい事と思ひます」などとうつかり便りすると「こちらはまだ〱」と笑はれるのである。こんな事にも新參者はとまどはされる。大陸がやつと春らしいほとぼりを見せる五月の日など、內地のことを今頃は麥の伸びかけた畦にあまなの花が情素なブラウンの星を綴つて居る頃だなどと思ひ出すのだが實際を考へて見ると內地の五月と云へばもう麥はみのりに近く、あまなの花どころかやがて裸の子供等が馳け歩かうと云ふ頃なのである——新しい土地になじむ迄は季節の作りなす大なり小なりの錯誤にとまどはされねばならない。從姉が內地の正月らしくないと云ふのは私の場合と全く逆なのであるが、自分もやがて大陸に住みなれてしまへば今度は內地に於ける季節の錯誤につゝ放されるのであらう。

—康德四年新春—

昭和十二年一月廿日　(水曜日)

婦人と子供

母體と胎兒を同時に強める

姙娠より出産までの保健藥

體力を充實して安產に導く

つはりに姙娠中絶は無用

つはりは姙娠に先だつき物の様に思はれてゐて、しかも從來これに對する確實な療法がなく、只食慾を誘起する爲にインシュリンを注射するとか、惡阻防止の爲にカルシウム其他の營養劑を與へるとかいふ位の消極的な手當であるので、症狀が重くなれば、もう早姙娠中絶によつて胎兒を出してしまふ以外に、母體を救ふ道はなかつたのであります。

然るに新生物劑若素（わかもと）が發見された今日では、つはりの爲に姙娠中絶を行ふことは殆ど無用となり、母體も胎兒も安全にこの危險な時期を經過出來る樣になりました。

浮腫・姙娠腎・脚氣を防ぐ

つはりは、浮腫、姙娠腎、脚氣なども同様に、一種の姙娠中毒と見るべきで、胎兒の排泄物のために毒素を生じ、それが胃腸其他の機能を阻害して、榮養が攝れなくなるのでありますから、インシュリンの注射位では解消が困難であります。若素（わかもと）には毒素に對抗する抗體を、母體內に生成する作用があり、同時に新陳代謝を活潑にして、有毒物を分解し、利尿、便通を調整する働きもあるので、相まつてつはりのみならず、浮腫、腎臟炎、脚氣等の姙娠中毒の解消には從來の如何なる療法も及ばぬ效果を發揮するのであります。

榮養劑數種の效果を兼ね具ふ

更に若素（わかもと）の特色として、見逃せないのは、その組成中にアミノ酸、カルシウム、グリコーゲン、ビタミンA・B・D等姙婦に最も必要で、しかも最も不足し易い榮養素を、豐富に含んでゐる點であつて、本劑を服用すれば數種の高價なる榮養劑を併せ用ゐる效果があることであります。

著しく食慾を增進す

姙娠の爲に增加する榮養の消費を、カロリーの上から調べてみますと、五ケ月頃から急激に增加して、八ケ月頃には五〇パーセント即ち、平生の消費量が三千カロリーならば、四千五百カロリーにまで增加してゐるのであります。斯樣な多量な消費量の增加に對して、僅か一日二グラムや三グラムの若素（わかもと）を服用したなり榮養が充實してゐることがわかるのであります。

若素（わかもと）を服用して誰でも氣が付くことは、食慾の著るしい增進で、食物に好き嫌ひが少くなり、味が出ること、次に便通が規則的となり、姙婦にあり勝ちの便祕の習慣がなくなること等でありまして、これを以てみても、胃腸の機能が活潑になり榮養が充實してゐることがわかるのであります。

姙娠して體を惡くしたり結核の症狀が現はれたりするのは、母體の健康を維持するに必要な榮養を、胎兒の方に奪はれるからであつて、さういふ場合に若素（わかもと）を服用してゐれば、母體と胎兒の双方に必要な榮養を補給して、母體の衰弱を防ぎ、胎兒の健全な發育を促す效果が著るしいのであります。

貧血衰弱を防止す

なほ若素（わかもと）を服用してゐる母體の血液を調べてみますと血液中に赤血球色素と白血球の數が著しく增加してゐることがわかります。

赤血球色素（大學の實驗による）の增加は貧血の防止を意味するので、即ち出産時に失はれる血液を補給し產褥の恐るべき感染を防ぐ用意が出來てゐることを示し、また白血球の增加は體內に侵入して來る細菌を滅殺する力を意味するので、即ち結核や其他の病菌から姙產婦を保護する防禦力が出來てゐることを示すもの であります。

病弱兒がかうして丈夫に

(秋田)高橋みさを

今を去ること七年前、昭和四年初冬の候、長男出生致し家中喜び居りましたが生後約一年頃より、風邪に弱く食傷り、腸炎等實に眼けざまの病氣に、なんとかして丈夫にしたいものだと、日夜神佛に祈願致しました。

病氣の折はお醫者様に診て頂き、治して貰ひましたが、敢て申せば對症療法にして、弱かつた體質は強くなりませんでした。

三歳の秋若素（わかもと）あることを知りまして、服用させました處、以後病氣一つせず實に丈夫であります。他人樣にこの事をお話し試して頂いたこともありますが、その大きな効果に感心してゐられる方があります。その後私も姙娠の折から若素（わかもと）を服用致しましたがつわりの苦しさも知らずに丈夫な子供を生み、現在三人となりました。他人のお子さんが弱かつたり病氣したりする度毎に、若素（わかもと）の有難さをしみ〴〵と感じます。

代用藥なし！

由來、有名藥品に類似品の續出するは免れぬ所であり若素（わかもと）もその例に洩れず諸種の類似藥が夥しく現はれ、その取次販賣の口錢多きため、若素（わかもと）と効果に差違なしとして勸める藥局もあるやうであるが、若素（わかもと）は多種類あるヘーフェ菌中最も醫學的價値に富む特殊なる菌種を、專賣特許の方法によりて完備せる大規模の製造設備の下に製劑せるものであつて外觀形態に類似するともその効果において本劑と同種なる製劑は他に存在せず、單にヘーフェ菌劑或は酵母劑なるが故に効果同一なりと信ずるの誤りなるは各大學に於ける比較試驗の結果に徵するも明瞭であります。

藥價低廉　一日數錢

三百錠入一圓六十錢・千錠入五圓

三百錠は大人には廿五日量・十歳前後の兒童には四十日量・五歳前後には五十日量・三歳前後には六十日量に當る

發賣元・東京芝公園　株式會社わかもと本舖榮養と育兒の會

早大對全新京 スケート大會第一日

堂々、早大軍の貫録 先づ三競技で快勝

京商大川君、五百米で三位 中等氷上記録を破る

得點29-13

巨豪早稻田大學對新興の意氣に燃える全新京とのスケート對抗競技大會は新京、滿洲國兩體育聯盟の主催にて十九日午後三時半から本年度より公認された西公園リンクにて第一日の幕を花々しく切つて落したこの日薄曇りながら無風氣溫十一度といふ稀にみる好コンデイション、長途の遠征旅行にも少しの疲れも見せぬ早大軍並らびに漲りきつた全新京の男女選手が輕快なトレーニングを始める午後三時頃、續々つめかけた各中、女學校小學校團體觀覽者にてリンクは忽ち黒山を築き氷上に溢れる程だ、かくて定刻古川氏の先導で全新京軍を先頭に兩軍大旗をかざしてリンクを一周入場式を行ひ、百東(全新京)安部(早)兩軍首將の日滿兩國旗掲揚を終れば、會長田中弘之氏代理鯉淵兵士郎氏一場の挨拶を述べ續いて拍手裡に兩軍首將ペナント交換、直ちに競技は女子オープン五百米によつて開始せられた、第一日の成績は次の通りで豫想通り早大軍はオリンピック選手の貫録を堂々示したが、五百米においてはわが京商大川君よく三位に食ひ込み、かつさきに日光でだした全國中等氷上大會における自己の新記錄四十七秒四を破ること約一秒四十六秒五を出したことは偉大な收穫であつた(寫眞は入場式及び五百米スピード並にホッケー戰)

▲スピード

●女子五百米(セパレート)
一、大谷五五秒、二、伊藤五五、九秒三、中村五八二秒四、山下、五、山口、六吉川

●五百米(セパレート)
一、石原(早)四五、二秒 二、中村(早)四六秒、三、大川(新)四六、五秒四、渡邊(早)四七、九秒五、松田(新)四八、二秒六、大谷(新)四八、九秒
大川選手は第一組に中村選手と組み接戰の末破れたがなほ中等新記錄を出した

●五千米(オープン)
一、南洞(早)九分四二、五秒二、李(早)同三、中村(早)四、廣本(新)五、坂下(新)六、方(新)
以上六名出場、二千米までは南洞李をトップに新京軍も追ひつけたが後次第に離され決勝では約三百の左となつた、南洞、李は悠々同時にゴール、なほ新京軍方は八周目に顛倒して遅る

▲ホッケー
早大10 {1―0 1―1 8―0} 1全新京
(審判、牧、村上兩氏)
(早) F・W 安富小安七西 部田田田掘 D・F 須 川田 市平 G・K 小野田
(新) F・W 飯福北中丹加 田元川島澤藤 D・F 山百 住東 G・K 結家

▲フイギュアー
早大 黒田、伊藤兩選手全新京田中、白石、柳三選手との間に模範競技行はる

▲第一日得點

	早大	全新京
五百米	一四	七
五千米	一五	六
合計	二九	一三

原石選手 スピードコーチ

早大對全新京對抗スケート大會第一日の五百米で悠々一着となりその美技に觀衆を唸らせたオリンピック選手石原省三氏は新京のスケート界發展のために特に多忙中の時間を割き二十日午前十一時から西公園リンクにて在京選手、學生生徒有志にスピードコーチを行ふことゝなつた、參觀隨意なる由

中學校の高校志望者 初陣の廿餘名 幼年學校へも十五名

都塵を遠くさけた鐵道西の學園で清淨な大氣を滿喫して育まれてゐる新京中學校では創立四年を迎へ最上級生九十九名は殘す處二ケ月でラストコースの五學年の春を迎へんとしてゐるが、向學心に燃へる國都の中學生は五年卒業を待てず四學年終了とゝもに更に上級學校に進むべく來る三月中旬全國一齊に施行される各都市高等學校入學試驗に受驗すべくいまはその受驗準備で頭痛鉢卷である、本年度上級學校受驗希望者は九十九名中二十數名の多數に達しその希望學校は第一高等學校、山口高校廣島高校、山形高校、第七高校、旅順工科大學豫科などである、なほ來る二十三日、二十五日の兩日關東軍司令部で施行される幼年學校入學試驗には同校第一、二學年中から十五名位受驗する模樣である

衆につくべしと結論 重い尻をあげる

紛糾の三角地立退問題解決

立退き問題で紛糾に紛糾、家主と店子、家宅と滿鐵事務局と前後十數回の會合で物別れとなり新京署保安係迄持ち出された六十七番地三角地帶立退き問題は十九日松林保安次席の前で事務局桝田善宗氏、家主加藤牧場主、場店子吉光季輝氏、村上嚴氏、野島海男氏等が午前より午後に亘り折衝の結果國都の整理美化計畫に一、二市民が勝手なことを云ひ出しては際限ない話ですべからく衆に付く可しとの結論を見兼て事務局より加藤氏に渡された移轉料四萬圓(三萬六千圓既拂)のうちで吉光村上、野島氏は二月二十日迄に移轉することを約し圓滿解決を見た、一方加藤氏は事務局側の四月末迄に移轉され度しとの提案に理由をつけ決定は見なかつたが結局その邊に落ちつかざるを得ぬものとみられてゐる

畑中に慘殺死体

十八日午後三時頃南關警察署管內二道河子、吉林街道から約千米離れた雪の畑に一見三十才前後の一滿洲國人の慘殺死體が横はつてゐるを通行人が發見、最寄の派出所に屆け出た、首都警察搜査股より村上股長、下田鑑識股長、村上の「…」樣局部にも二ケ所の刺傷があり未だ被害者の身元は判明しないが諸種の事情から痴情關係の殺人と見られ全搜査機能を擧げて犯人嚴探中

御注意!

空巣狙ひ横行 眞晝間白山住宅に侵入

特別市白山住宅三一九號採金會社員大和一郎(四〇)=假名=妻某が十八日午後一時頃買物に出掛け所用を終へて歸宅して見たところ鍵をした筈の扉は開かれ室內の簞笥、押入は無慘に荒され現金六十五圓、寶石、衣類、其他價格四百圓の盜難を知り領警署に屆出でたが該犯人は妻某の外出を見屆けるや直ちに合鍵を以つて裏口より侵入し慘々荒し廻つた上表玄關より悠々と逃走せるものである、犯人は目下搜査中、左の如くこの種の犯罪は最近益々增加の傾向あるに鑑み當局に於ては「かゝる外出の際には一應隣近所に通絡して留守を依賴し未然に防ぐかまた盜難の既に遂行されたる場合は發見と同時に屆出でるは勿論係員の到着する迄現場はそのまゝにしてほしい―」との希望であつる

京商氷上部凱旋歡迎座談會

"勝つて驕るな 今後の努力期待" (一)

―新京體育聯盟、本社主催―

日時 昭和十二年一月十八日午後六時半
場所 滿鐵西廣場俱樂部
出席者 京商軍監督中島、山住兩教諭、前田(主將)泉、佐藤、隈、山田、福原、潴、內藤、渡瀨、伊藤(以上ホッケー選手)大川、林、田村(以上スピード選手)赤塚校長、藤原教諭、北川裕氏、飯田修一氏、福元幸氏(先輩)、森田貞一氏(八島小學校)高山社會主事、齋社會係、上田本社代表、山田、中島、伊藤、三記者

上田本社代表 戰へば必ず勝つ、勝つには準備と練習が必要であり、團體競技においては協和と精神の一致がなければどうしても優勝は出來ません、我が新京商業氷上軍がはる〴〵第七回全國中等氷上大會に出場し見事優勝の榮冠を得て歸れの凱旋をこゝに本夕こゝにお集り願へたのは誠に喜ばしい限りでありますが、これは實に同軍が良指導者を得て一致團結した賜であるが、またわが新京市民の同情ファンの後援も大いに與つて力あることであります、また我が商業軍は戰に臨んでは正々堂々一つの反則も出さなかつたと言ふ事も實に立派なことでした、戰ひは勝たねばならぬ、然しながら勝つためには手段を選ばぬと言ふのではない、あくまで正々堂々でなければならぬ、此の點においてもわが商業軍は全國の模範を示してくれたのは我々の最も深謝するところであります、長途の遠征でお疲れのところでありますが、市民とともに此の喜びを頒ち合ひ度と思ひ此のお集りを願つた次第であります、どうか寬いで當時の感激、實際の模樣等についてお話願ひたいと思ひます

高山社會主事 新京體育聯盟を代表して一言申述べます 新京商業ははる〴〵內地に遠征し强敵苫小牧工業をよく打破り、堂々征覇した事は我々にとつて最も喜ばしいことであります、殊に我が商業軍は試合に臨むや正々堂々一度の犯則もエラーもなかつたといふことはニユースを聞くたびにも嬉しいことであります これは實に好き指導者と諸君の眞面目なる練習の賜であつて新京の誇りと名譽と思ひます、私は新京に來て以來、冬のスポーツはスケートでなければならない、そして滿洲のスケートは新京が中心にならねばならないと言ふ希望と祈りをもつて居ましたそれが早くも實現に近づき諸君が堂々たる成績をおさめて凱旋されたと言ふ事はその好い前兆の樣に思はれるのであります、諸君、勝つて兜の緒を締めよ、將來とも益す努力躍進されんことをお願ひするものであります

赤塚校長 わが新京商業氷上部が優勝の榮冠を得て歸つたと言ふことは我が校氷上部の傳統的選手の努力もさることながら、市民諸賢の熱烈なる御聲援の力もまた大なるものがあると感謝に耐へない次第です、元來當校では遠征と言ふことは過去に柔道部が一回行つたのみで前例なく、殊に今回は多額の費用も要するので、最初は相當の非難もあり決定にも困惑致した樣な次第でありましたが、市民各位のどうしても決行せよと言ふ熱ある御聲援も昂まり、また卒業生、先輩もどうしてもやれと激勵するなど、學校よりも周圍の方の熱が高く、從つて資金も忽ち集りその上ホッケーのみでなくスピードも伴て、金は準備するからとまで社會係のお言葉もあり、スピードの如きは豫定してゐなかつたチームの急編成をして遠征した樣なわけであります、然るに豫期以上の實力を發揮して市民の御期待に副ひ得たことは何と言つても感謝感激に耐へない次第である 選手の氣持を察してもはる〴〵彼地に行つて言ひ知れぬ淋しい氣持も起つたであらうが、新京における在校生、卒業生は勿論市民の熱烈な御後援を思ひさぞ悲壯な決意に燃えたことであらう、これが實力を充分、むしろそれ以上發揮して活躍出來た原因でありませう、また制覇して凱旋途中沿線各驛の熱烈な歡迎、およびわざ〴〵途中まで出迎して下さつた新聞の方々夜分にもかゝはらず市民一般の歡迎等々誠に感謝に耐へません、殊に今朝は新聞社の御厚意にて紙面大部を割き、夜の事をお書き下され、我が校の喜びを細大洩さず市民に傳へて下さつた事は何ともお禮の申上げ樣もない次第であります、選手もそれを讀まんで涙が出たさうです、今夕はかうした席を設け戰績を語る機會をお與へ下された事を感謝致します、選手は今度の勝利を全く自分たちのみの力と思はず深く全市民の後援の賜と思ひ決して慢心を起さず、今後も一生懸命努力し市民の熱意に背かぬ樣奮勵する事が必要であります、以上一言御禮の言葉を申述べます、(～晩餐約三十分)【寫眞は座談會、高山主事の挨拶とマスコット】

東京大相撲春場所星取表

西方: 男女川、清水川、鏡岩、笠置山、大潮(休)、桂川、兩國、幡瀬川、旭川、五ッ島、太刀若、九州山、楯甲、綾若、綾川、高登、番神山、鯱ノ里、名寄岩、大八州、射水川、三熊山、北海

東方: 玉錦、武藏山(休)、双葉山、出羽湊、和歌島、磐石、大邱山、玉ノ海、綾昇、海光山、巴潟、新海、土州山、駒ノ里、出羽花、富ノ山、前田山、大平山、渡島灘、筑波嶺、防長山、金湊、星甲

東京相撲 五日目勝負

【東京國通】東京大相撲五日目勝負左の如し

中入後
射水川(二枚げり)大八州
星甲(やぐらなげ)筑波嶺
金湊(突おとし)名寄岩
防長山(押たほし)渡島灘
高登(だしなげ)富の山
出羽花(寄りたほし)鯱の里
前田山(つきだし)綾若
楯甲(おしだし)番神山
土州山(突きこみ)新海
大平山(こてがへし)太刀若
巴潟(引おとし)駒の里
海光山(ひねり)綾川
旭川(寄たほし)五つ島
玉の海(よりきり)九州山
大邱山(押たほし)幡瀬川
磐石(寄たほし)綾昇
双葉山(寄たほし)笠置山
兩國(下手なげ)鏡岩
清水川(あびせ倒し)和歌島
男女川(こてなげ)出羽湊
玉錦(よりきり)桂川

六日目取組

(打出し六時卅一分)

東: 錦華山、陸奥錦、羽黒山、荒駒、加古川、源氏山、天城山、神威山、三熊山 (中入) 松浦潟、射水川、北海、名寄岩、大八州、富ノ山、綾若、渡島灘、九州山、鯱ノ里、太刀若、五ツ島、高登、旭川、綾川、兩國、桂川、清水川、出羽湊、鏡岩、磐石、男女川

西: 小島川、安藝ノ海、綾錦、越ノ海、千葉昇、青葉山、錦ケ谷、讃幟、常山 (中入) 防長山、金湊、筑波嶺、星甲、前田山、出羽ノ花、大平山、新海、番神山、巴潟、駒ノ里、楯甲、綾昇、海光山、玉ノ海、土州山、大邱山、幡瀬川、双葉山、笠置山、玉錦、和歌島

天氣と氣溫
けふの天氣 北の風曇一時晴
日の出 前八時七分
日の入 後五時三二分
月の出 前十一時二八分
月の入 後一時一三分
きのふの氣溫 最高零下五度七 最低零下二三度八

妖魔往來

(禁上映 上演) 桃川燕二演 内山鉦太郎畫

一六一

大阪屋は、光五郎先生にむかつて、言葉をつゞけて、

『千金はまるごと背負ひこみなので先生あの女を取戻して甲府の方へ渡す譯にはなりますまいか』

『馬鹿をいへ其女が怪物なのだ貴様があんな者を後生思つてゐると命迄持つていかれる、マア／＼近い内に正體をみせてやる、少しまつてゐるがよい』

『ヘエあの娘が魔物なんで――さうはおつしやつたが見たところ傲なところはありませんが――』

『貴様達の目で見て判る様な化方をしてゐるものでない』

もう光五郎先生は此お志津を取つて押へやうと御決心になつた、例の志津の三郎の一刀を打こんで身輕な扮裝となり、日の暮るのをまち食事を充分にして此夜から匿れ穴の田原屋の厨先へ忍び込んで様子を見ることになりました、鰥三日目の晩にいたつて愈々退治する機が來ました。

光五郎先生果して怪物を退治し得るでせうか――。

面にくし蛙のものか撫子花、品川の御殿山から遠からぬ漁師町の片邊、柱は歪みて破れ障子の建附も合ず、茅吹きの屋根は腐つてところ／＼に草がはへてゐる、見るからイブせき漁師の家でございます鰥もなし女房もなし子もなしといふ至つて暢氣な熊八、碌に漁にも出ず、鰻さへあれば酒と博奕に日を暮す、誠に厄介千萬の男、此熊八の家に此頃見馴れぬ年増の女がきてゐる。

併し夫が年増でこそあれ垢拔けて飛切なのだから、さア仲間に大評判

『熊八ゐるか』

『オ、松か』

『手前の家に好い女が來てゐるといふが本當か』

『ウムそんな評判があるか』

『あるから聞いて來たのだ、鳥渡と見せや』

『冗談いつちやいけねへ、見せ物ぢやねえや、もう二三日したらみせる様になるだらうが、今日はいけねへや』

『さう持たせ振な事をいやアがる、見せやといふたら見せや』

『夫がいけねえだ、もう二三日まつてくれ』

『何でそんなに見せ惜みをするのだ、全體貴様がカ、アにでもする女か』

『おれはまアさう思つてゐるんだが、まだそこ迄話がとゞかねえ鳥渡預かり物の形でね』

そこへ二三人の漁師仲間が押込んできた

『熊、大層美しい女を連込んでゐるといふぢやねえか、見せてくれ』

『熊、ヤイ默つてカヽアを貰ふ奴があるか、おれ達にも引合せろ』

『こりや驚いたなア、さう押こんでこられちやいけねえ、女はゐるが病人だ、おまけに預かり物ときてゐる。まア騒がないでくれ、實はまだ本當によいのぢやない。お前達も知つてゐる宮市の野郎が擔ぎこんできたのだ、何でも舟が難破して乘つてゐた客が土左衞門になつたのださうだ女といふのは其内の一人で多く水をのんでゐたが、それをはかして手當をし、ヤッとのことで此世のものにしたが、正氣には返つた様なもの〻、ところが驗が惡いので、靜かにしてねかしてある、二三日したら、歸るだらうと思つてな』

『ウムさうか、そんな事か、ぢや見せて貰へねえなア、此の野郎のものなら辻褄にも出來めへ、歸らう／＼』

と一同は引取りました。こゝにゐる女は誰かといふにこれは例の田原屋のお雛でございます。